

年 報

— 令和 2 年度 —



No. 10

八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館

目 次

I	沿革	1
II	施設概要	
	1. 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（本館）	2
	2. 八戸市縄文学習館（是川縄文館 分館）	3
III	教育普及等	
	1. 常設展示	4
	2. 企画展示	6
	3. 教育普及の実績	10
	4. 是川縄文の日	14
	5. 八戸圏域広域的体験学習支援事業（はっふる隊）	15
	6. 地域連携	15
	7. 世界遺産登録へ向けた取り組み	17
	8. ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」	18
	9. 調査研究	18
	10. 広報・情報発信	20
	11. ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」	21
IV	埋蔵文化財調査等	
	1. 発掘調査事業概要	22
	2. 調査概要	26
	3. 発掘調査報告書	35
	4. 情報公開	35
	5. 是川遺跡美術工芸品保存修理事業	36
	6. 八戸市内遺跡出土鉄製品保存処理	36
	7. 埋蔵文化財活用活性化事業	36
V	史跡整備	
	1. 史跡是川石器時代遺跡第1期整備事業	37
	2. 史跡維持管理	38
	3. 一王寺遺跡内容確認調査	38
VI	管理運営概要	
	1. 協議会等	39
	2. 日記抄	40
	3. 来館者利用状況	42
	4. 小中学校利用状況	43
	5. 資料利用状況	43
	6. 資料収蔵	46
	7. 予算概要	47
	8. 新型コロナウイルス感染症対策	47
VII	組織・関係団体	
	1. 組織及び職員構成	49
	2. 八戸縄文保存協会	49
	3. 是川文化財愛護会	49
	4. 縄文是川ボランティア	50
	利用案内	51

I 沿革

是川縄文館は、市内の遺跡から出土した埋蔵文化財の積極的な公開・活用、適切な保存管理に努め、埋蔵文化財保護の重要性を伝えるため、埋蔵文化財センターとして平成 23 年（2011）に開館した。是川遺跡、風張 1 遺跡等の発掘成果をふまえた展示や体験交流等を通して、市民や来館者が地域文化の魅力を再発見し、誇りや愛着が感じられる郷土づくりに資する。

また、八戸市縄文学習館は、考古館・歴史民俗資料館とともに是川遺跡と一体となって活用を図る「是川遺跡文化学習ゾーン」の中核施設として、平成 6 年（1994）に開館した。平成 23 年（2011）5 月に一時休館し、展示リニューアルを経て、同年 7 月 10 日に改めて開館した。なお平成 23 年度機構改革により、八戸市縄文学習館は八戸市博物館分館から八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館へ所管替えとなった。

- 昭和 32 年（1957） 「是川石器時代遺跡」国史跡指定。
- 昭和 36 年（1961） 泉山岩次郎氏、斐次郎氏兄弟から出土品の寄贈を受ける。
- 昭和 37 年（1962） 寄贈品のうち、中居遺跡出土品 633 点が重要文化財に指定。
- 昭和 38 年（1963） 「考古館」完成（9 月 30 日）。
- 昭和 49 年（1974） 「歴史民俗資料館」完成（3 月 30 日）。
- 昭和 50 年（1975） 「歴史民俗資料館」開館（5 月 10 日）。
- 平成 5 年（1993） 3 月 「縄文学習館」基本設計完成。 4 月 縄文学習館展示指導員会議実施。
5 月 建築予定地発掘調査実施（8 月終了）・地質調査完了。
6 月 映像展示ソフト製作委託実施。 7 月 建築実施設計完成。
8 月 展示実施設計完成。
- 平成 6 年（1994） 3 月 建築・設備・展示各工事完成。 6 月「縄文学習館」開館（6 月 24 日、八戸市博物館分館）。
- 平成 7 年（1995） 是川遺跡文化学習ゾーンオープン（2 月 22 日）。
- 平成 9 年（1997） 「是川縄文の里整備基本構想」を策定。
- 平成 15 年（2003） 「是川縄文の里整備検討委員会」を設置し、基本構想見直し。
- 平成 16 年（2004） 「是川縄文の里整備検討委員会」が（仮称）是川縄文博物館の建設に向けて建設計画等を検討。
史跡追加指定（史跡総面積 213,372.52㎡、遺跡全体の 56.74%）。
- 平成 17 年（2005） （仮称）是川縄文博物館の建設用地取得。
- 平成 18 年（2006） 施設の機能にあわせ（仮称）是川縄文館と改める。
プロポーザル方式で設計業者を選定し、基本設計を実施。
実施設計を実施。
- 平成 19 年（2007） 造成工事を実施し、建設工事に着手。
- 平成 21 年（2009） 建設工事及び展示設備Ⅰ期工事を実施。
- 平成 22 年（2010） 展示設備Ⅱ期工事及び外構・駐車場工事を実施。
- 平成 23 年（2011） 4 月 機構改革により縄文学習館が「八戸市博物館分館」から「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館」
に所管替え。
5 月 「考古館」・「歴史民俗資料館」閉館、「縄文学習館」一時休館、縄文学習館展示等改修業務委託実施。
6 月 縄文学習館展示等改修業務委託完成。
中居遺跡出土品 330 点が重要文化財に追加指定（総数 963 点）。
7 月 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館開館（7 月 10 日）。
八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例及び施行規則、組織等規則施行。
開館記念企画展「八戸の埋蔵文化財」開催（7 月 10 日～9 月 25 日）。
開館記念講演会「是川遺跡の現在と未来」開催（7 月 17 日）。
8 月 来館者 1 万人達成。※本館観覧者数
10 月 開館記念特別展「縄文至宝展」開催（10 月 15 日～11 月 13 日）。
- 平成 24 年（2012） 7 月 開館 1 周年行事開催（7 月 7 日～7 月 24 日）。 来館者 5 万人達成。※本館入館者総数
- 平成 25 年（2013） 10 月 史跡追加指定（史跡総面積 213,497㎡、遺跡全体の 56.78%）。
- 平成 26 年（2014） 6 月 来館者 10 万人達成。※本館入館者総数
- 平成 28 年（2016） 5 月 来館者 15 万人達成。※本館入館者総数
7 月 開館 5 周年行事開催（7 月 9 日～7 月 10 日）。
10 月 史跡追加指定（史跡総面積 219,009㎡、遺跡全体の 58.24%）。
- 平成 30 年（2018） 1 月 来館者 20 万人達成。※本館入館者総数
- 令和 元年（2019） 3 月 「史跡是川石器時代遺跡第 1 期整備基本計画」を策定。
10 月 来館者 25 万人達成。※本館入館者総数
- 令和 2 年（2020） 是川遺跡発掘 100 周年及び記念イベント開催。
7 月 整備工事のため「縄文学習館」休館。
11 月 「是川縄文の日」、「是川縄文普及月間」制定。

II 施設概要

1. 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（本館）

(1) 施設の名称と位置

- 名称：八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館
- 住所：青森県八戸市大字是川字横山 1

(2) 施設の概要

- 構造：1 階鉄筋コンクリート造+ 2 階鉄骨造
- 敷地面積：13,752.55㎡ ○建築面積：2,602.98㎡ ○延床面積：4,593.82㎡
- 建築基本・実施設計：(株) 岡設計 ○展示基本・実施設計及び施工：(株) 丹青社

(3) 主要施設・面積 ※床面積 1 階：2,408.19㎡ 2 階：2,185.63㎡

階	室名	面積 (㎡)	階	室名	面積 (㎡)	階	室名	面積 (㎡)
1F	体験交流室	142.8	1F	館長室 (応接室)	36.87	2F	図書閲覧コーナー	91.19
	アプローチ展示	229.53		事務室	79.12		研修室	62.12
	特別収蔵庫	139.49		会議室	51.12		調査記録保管室	39.78
	特別収蔵庫前室	22.70		スタッフルーム	46.51		書庫	133.42
	一般収蔵庫	473.06		器材庫	56.25		研究室	151.13
	荷解場	104.62	常設展示室	503.01	出土品整理室		143.47	
	保存科学室	55.90	国宝展示室	46.60	図面整理室		87.86	
	作業室	54.90	企画展示室	178.37	写真撮影室		41.66	
	ミュージアムショップ	78.59	展示準備室	81.94	ベビーコーナー		4.48	

○駐車場：普通車 86 台、大型バス 6 台、障がい者用 3 台 ○トイレ：2 か所（障がい者用含む、職員用除く）

(4) 建設事業費 ※総事業費：2,242,439 千円

- 基本・実施設計：87,740 千円 ○外構工事等：189,120 千円 ○本棟工事等：1,628,434 千円
- 器材庫建築工事等：50,012 千円 ○展示工事：287,133 千円



八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

2. 八戸市縄文学習館（是川縄文館 分館） ※史跡整備事業により、令和2年7月から第1期整備工事完了まで休館中

(1) 施設の名称と位置

- 名称：八戸市縄文学習館（八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 分館）
- 住所：青森県八戸市大字是川字中居3-1

(2) 施設の概要

- 構造：1階・2階鉄筋コンクリート造
- 敷地面積：15,668.10㎡ ○建築面積：526.34㎡ ○延床面積：623.82㎡
- 建築基本・実施設計：(株)武田菱設計事務所 ○建築工事：(株)大入建設
- 展示基本・実施設計及び施工：アール・エー・ビー開発(株)

(3) 主要施設・面積 ※床面積 1階：519.940㎡ 2階：103.880㎡

階	室名	面積(㎡)	階	室名	面積(㎡)	階	室名	面積(㎡)
1F	事務室	29.975	1F	常設展示室	118.673	2F	資料整理室	34.504
	情報資料室	29.635		体験学習室	80.750		収蔵庫	46.216

- 駐車場：普通車8台 ○トイレ：1か所（障がい者用含む）

(4) 建設事業費 ※総事業費：341,671千円

- 基本・実施設計：11,845千円 ○外構工事等：5,789千円 ○本棟工事等：241,665千円
- 展示工事・映像資料製作：68,644千円 ○その他：13,728千円

(5) 展示改修等事業費

- 事業費：8,810千円 ○展示改修等委託受託者：アール・エー・ビー開発(株)



八戸市縄文学習館
(八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 分館)

III 教育普及等

1. 常設展示

(1)八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

常設展示は、直感的な手法で是川遺跡を印象付け（右脳）、論理的な手法で詳しい解説を行う（左脳）、対比的なコンセプトとしており、「縄文の美と謎を探る」ことをテーマとしている。

導入部のイメージ・シアターは、来館者に是川遺跡の特徴を印象付け、体験できるシアター空間。漆塗り遺物の赤と黒や縄文文様をテーマとする神秘的な「縄文への道」に続き、豊かな自然の中で植物を多様に利用したくらしを紹介する「縄文くらしシアター」で構成される。続く「縄文の美」は、「漆の美」「是川のみ」「風張の美」の3コーナーからなり、縄文人が作り出した造形美をじっくりと鑑賞できる空間とした。

左脳ゾーンとなる「縄文の謎」では、是川中居遺跡の発掘現場から、調査研究成果として「環境」「くらし」「わざ」「漆文化の広がり」という4つのテーマから紹介している。

続く「最新研究報告」は、埋蔵文化財センターの調査・研究成果を更新しながら展示する常新展示を目指している。令和2年度は、第6回「貝塚を発掘する『一王寺遺跡』」を継続している。

合掌土偶は「国宝展示室」の免震・密閉式展示ケースにて展示されている。

1階アトリウムはガイダンス展示となっており、八戸市の遺跡や、全国の縄文遺跡について調べることができる体験型の端末「はちのへ遺跡ログ」・「是川羅針盤」を設置している。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として4月18日(土)から5月11日(月)まで休館としたほか、再開後は「はちのへ遺跡ログ」・「是川羅針盤」・「縄文の道」・「縄文の謎」のタッチパネルや解説シートの使用中止、「合掌土偶のレプリカ」の撤去等の対策を行った。

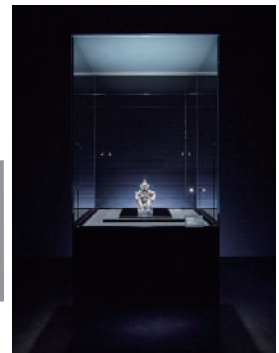
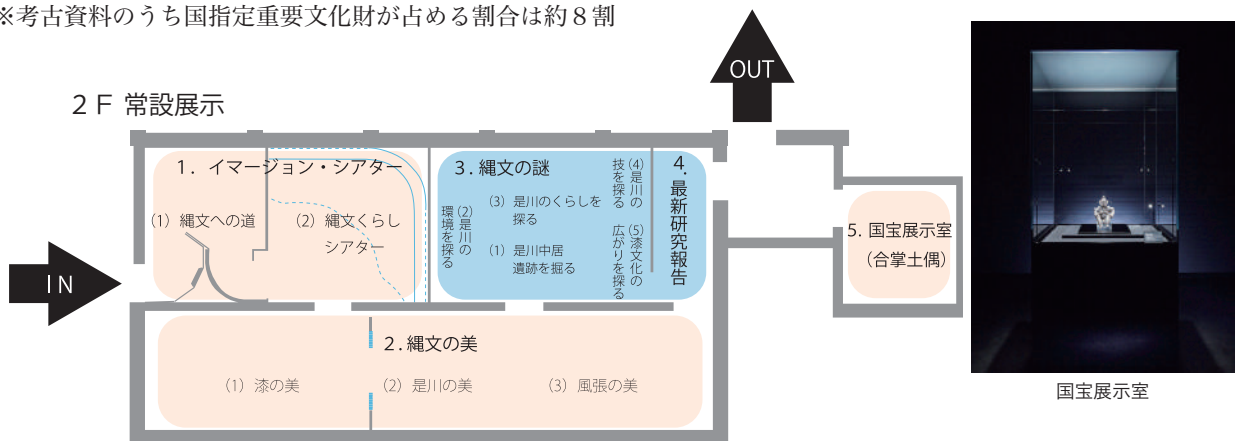
展示室	展示品	重要文化財	指定外	レプリカ	復元品	民俗資料
漆の美	50	48	2	-	-	-
是川のみ	223	175	48	-	-	-
風張のみ	203	203	-	-	-	-
縄文の謎	71	38	3	1	22	7
最新研究報告	40	-	40	-	-	-
国宝展示室	1	※国宝 1	-	-	-	-
計	588	465	93	1	22	7



縄文の美

常設展示品（令和2年度）

※考古資料のうち国指定重要文化財が占める割合は約8割

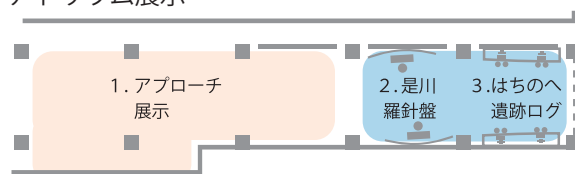


国宝展示室



是川羅針盤

1 F アトリウム展示



展示構成

(2)八戸市縄文学習館（是川縄文館 分館）

是川縄文館分館の常設展示では、是川遺跡の学史的背景や概要について紹介するとともに、埋蔵文化財センターの役割について解説しており、本館常設展示へのプロローグとなっている。

なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として4月18日(土)から5月11日(月)まで休館とした。また、7月より史跡是川石器時代遺跡第1期整備工事のため休館し、展示のリニューアルを予定している。

I. 是川遺跡と泉山兄弟

是川遺跡の発掘と保存に大きな功績を残した泉山岩次郎、斐次郎兄弟を顕彰し、泉山兄弟による是川遺跡発掘の歴史や、考古学研究者たちとの関わり等について紹介する。

II. 是川遺跡

是川遺跡を構成する一王寺遺跡（縄文時代前期～中期）、堀田遺跡（縄文時代中期）、中居遺跡（縄文時代晩期）について概要を紹介する。また各遺跡の日本考古学史に残る貴重な発見について解説している。

III. 是川遺跡の環境

中居遺跡の花粉分析の成果をもとに、縄文時代晩期の頃の環境について紹介する。また屋外に植栽した縄文時代の植物を散策してもらうよう、植物の種類・地点を図表で示しており、フィールドミュージアムの要素を盛り込んでいる。

IV. 埋蔵文化財センターの役割

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の機能・役割について紹介する。展示は「埋蔵文化財の保護」、「発掘調査」、「整理作業」、「発掘調査報告書の作成」、「埋蔵文化財の活用と普及」の5項目で構成され、埋蔵文化財保護意識の啓発に努める。また、これまで作成・刊行した八戸市内の遺跡の発掘調査報告書を設置し、閲覧できるようになっている。

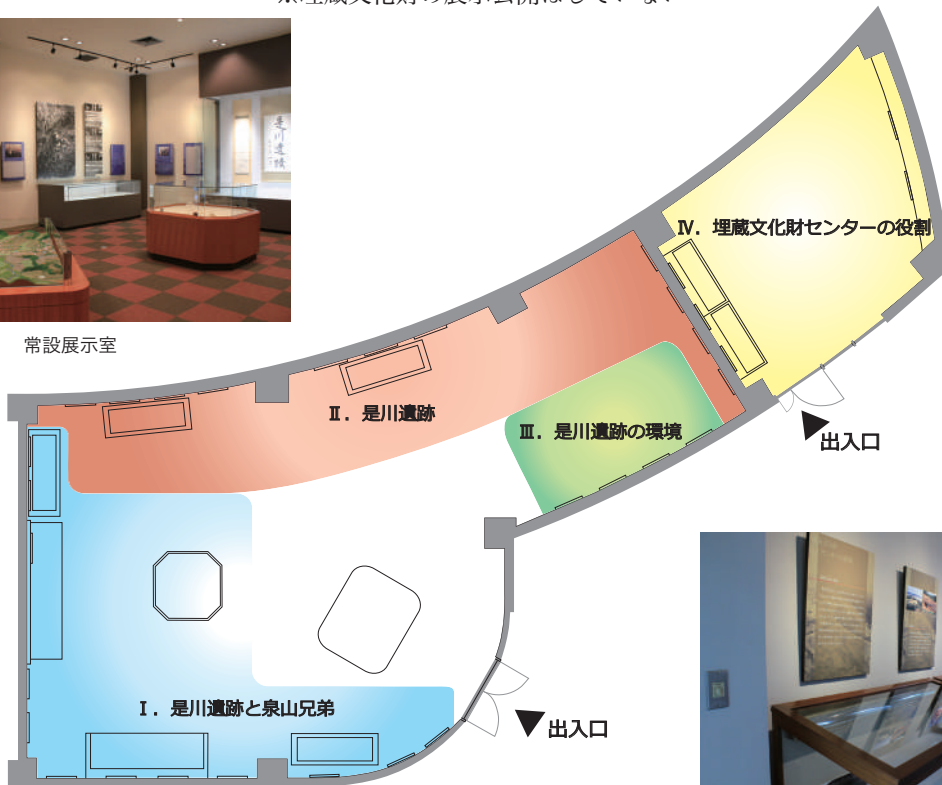
展示室	展示品	文献史料	民俗資料
是川遺跡と泉山兄弟	61	51	10
是川遺跡	3	3	-
埋蔵文化財センターの役割	6	6	-
計	70	60	10

常設展示品（令和2年度）

※埋蔵文化財の展示公開はしていない



常設展示室



展示構成



IV. 埋蔵文化財センターの役割

III
教育普及等

2. 企画展示

令和2年度は、昨年度から会期を延長した冬季企画展「是川遺跡の壺形土器」、夏季企画展「泉山兄弟と是川遺跡」、秋季企画展「白神山地の縄文」、冬季企画展「是川遺跡の注口土器」を開催した。

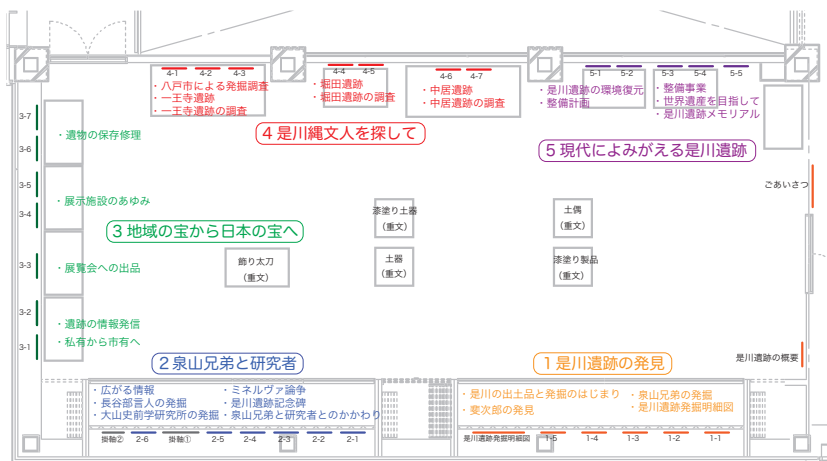
(1) 冬季企画展「是川遺跡の壺形土器」 ※展示内容詳細は年報第9号参照

開催期間 令和元年12月14日(土)～令和2年4月17日(金) 100日間
 観覧者数 113名(7人/日) ※令和2年4月1日から(16日間)
 展示資料数 205点
 主な展示品 壺形土器(八戸市是川中居遺跡)

(2) 夏季企画展 是川遺跡発掘100周年記念「泉山兄弟と是川遺跡」

開催期間 7月18日(土)～9月6日(日) 50日間
 観覧者数 3,069人(61人/日)
 展示資料数 210点
 印刷物 ポスター(B2版)500枚 リーフレット(A4版)50,000枚、招待券2,000枚
 解説リーフレット(A3版)5,000枚 図録(A4版カラー100ページ)500部
 主な展示品 縄文土器(八戸市是川中居遺跡、是川一王寺遺跡、是川堀田遺跡)、土製品(是川中居遺跡、是川一王寺遺跡)、石製品(是川中居遺跡、是川一王寺遺跡)、漆製品・木製品・つる製品(是川中居遺跡)、骨角製品(是川一王寺遺跡)、泉山家関連資料、是川遺跡出土品台帳ほか
 併催行事 企画展ギャラリートーク 会期中土曜日(各1回)午後2時～ ※8/29は午前10時～
 企画展考古学講座(→p10) 8/29 午後2時～

是川遺跡が有名になるきっかけとなった泉山兄弟による発掘から100周年を迎えることを記念して企画された展示。遺跡に関わる泉山兄弟の功績や研究者との関わり、これまでの発掘調査の成果、遺跡の保存活用に関する歴史について、出土品や過去の書類、泉山家から寄贈された当時の記録資料などを基に紹介した。



展示構成



夏季企画展リーフレット



展示状況

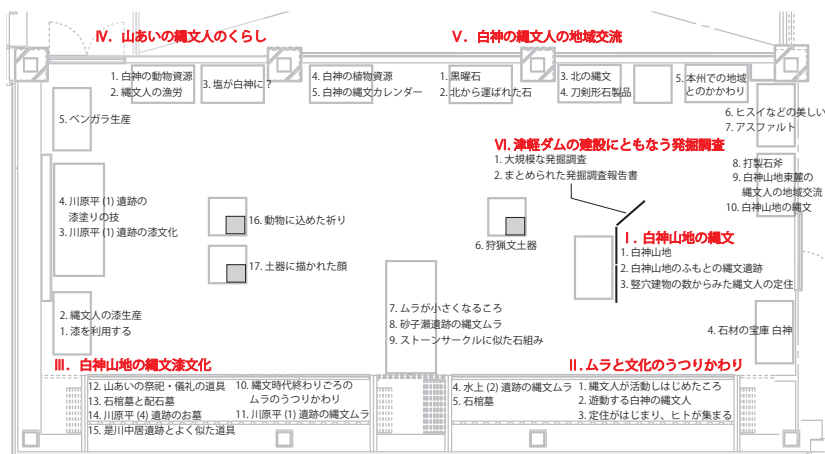


泉山家関連資料(泉山コレクション)

(3) 秋季企画展「白神山地の縄文」

- 開催期間 10月10日(土)～11月23日(月・祝) 39日間
 観覧者数 3,597名(92人/日)
 展示資料数 250点
 印刷物 ポスター(B2版)500枚 リーフレット(A4版)50,000枚
 解説リーフレット(A3版)5,000枚 図録(A4版カラー50ページ)500部
 主な展示品 隆起線文土器破片・槍先形尖頭器(青森県西目屋村鬼川辺(1)遺跡)、貝殻文土器・トランシェ様石器・石篋(同村川原平(4)遺跡)、円筒式土器・板状土偶・短冊状土製品・黒曜石製石器・石冠・ヒスイ製大珠(同村水上(2)遺跡)、狩猟文土器(同村川原平(6)遺跡)、柱状礫・三角形石製品・三脚石器・石錘(同村砂子瀬遺跡)、鳥形容器・きのこ形土製品(同村大川添(3)遺跡)、人面付注口土器・土偶・土面・土版・岩版・磨製石斧・篋形木製品・漆製品・股木材・動物骨(同村川原平(1)遺跡)
 併催行事 企画展ギャラリートーク 会期中土曜日(各1回)午後2時～
 ※10/10、11/7・14は午前10時～
 企画展考古学講座(→p11) 11/7 午後2時～

白神山地東縁部(青森県西目屋村)で、津軽ダム建設にともない青森県埋蔵文化財調査センターが2003年から13年間に渡り行った発掘調査の成果を取り上げた展示。この地域における縄文時代1万年の集落のうつりかわりを示すとともに、人面付注口土器などの多彩な祭祀具を展示し、山あいにくらす縄文人の豊かな文化や精神性を紹介した。また、黒曜石製石器やヒスイ製品などの遠隔地交流を示す出土品をたくさん列品し、物資と情報が集まる流通の要所であったことを展示した。



展示構成



企画展リーフレット



展示状況

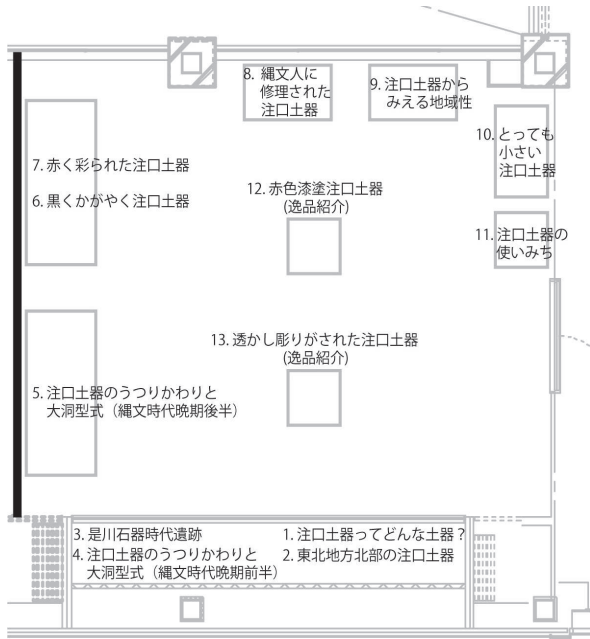


人面付注口土器(青森県西目屋村川原平(1)遺跡 出土)

(4) 冬季企画展「是川遺跡の注口土器」

開催期間 令和2年 12月12日(土)～令和3年5月5日(水・祝) 117日間
 観覧者数 1,961名(23人/日) ※令和3年3月31日時点(85日間)
 展示資料数 143点
 主な展示品 注口土器(八戸市是川中居遺跡)

是川遺跡発掘100周年を記念してスタートした、出土品を種類別に紹介するシリーズ企画第2回。縄文土器のなかでも精製のものが多く、祭祀などの特別な場面で使われることが多いとみられる注口土器を取り上げた。是川遺跡で出土した注口土器の多様さや、形・デザインのうつりかわりなどを展示。継続して実施している保存修理事業の成果品の公開機会ともなっている。3月21日(日)までの会期だったが、好評につき5月5日(水・祝)まで期間を延長させた。



展示構成



展示状況



透かし細工の注口土器



冬季企画展ポスター



細かな文様が施された注口土器

開催年度	特別展・企画展	名 称	開催期間	日数	入館者数	人 / 日	資料数
平成 23 年	開館記念企画展	八戸の埋蔵文化財	7/10～9/25	77	19,245	275	222
平成 23 年	開館記念特別展	縄文至宝展	10/15～11/13	27	7,509	278	358
平成 24 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 23 年度発掘資料展～	4/28～6/24	53	6,632	125	56
平成 24 年	特別展	発掘された日本列島 2012 新発見考古速報	8/8～9/17	38	7,723	203	600
平成 24 年	秋季企画展	縄文のストーンサークル	10/13～11/25	39	3,037	77	169
平成 25 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 24 年度発掘資料展～	4/27～6/23	52	4,135	79	120
平成 25 年	特別展	みみずく土偶と縄文人-関東の晩期安行文化-	7/20～9/2	41	4,577	111	203
平成 25 年	秋季企画展	縄文時代の津軽半島	10/12～11/24	38	2,884	74	235
平成 26 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 25 年度発掘資料展～	4/26～6/22	52	3,630	69	138
平成 26 年	特別展	トータルボールの人びと～漁労・狩猟採集民の暮らし～	8/1～9/15	42	5,364	128	115
平成 26 年	秋季企画展	海と火山と縄文人-是川縄文館・東京大学共同研究展示-	10/11～11/24	39	3,168	81	179
平成 27 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 26 年度発掘資料展～	4/26～6/22	51	4,477	88	190
平成 27 年	特別展	漆と縄文人	7/25～9/6	39	5,753	148	162
平成 27 年	秋季企画展	小川原湖周辺の縄文文化	10/10～11/23	39	3,782	97	221
平成 27 年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真-	12/19～3/21	74	2,775	38	24
平成 28 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 27 年度発掘資料展～	4/29～6/26	52	4,532	88	190
平成 28 年	特別展	山の縄文世界-中部高地の縄文時代-	7/23～9/4	39	5,320	136	122
平成 28 年	秋季企画展	馬淵川流域の縄文時代	10/8～11/20	38	3,446	91	172
平成 28 年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.2-	12/17～3/20	75	2,336	32	38
平成 29 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 28 年度発掘資料展～	4/29～6/25	52	4,187	80	138
平成 29 年	特別展	発掘された日本列島 2017 新発見考古速報	8/5～9/18	42	7,600	180	497
平成 29 年	地域展	八戸の土偶	8/5～9/18	42	-	-	467
平成 29 年	秋季企画展	是川縄文ムラを観る・描く-人と風と草木のものがたり-	10/14～11/26	38	2,653	69	112
平成 29 年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.3-	12/16～3/21	75	1,948	25	43
平成 30 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 29 年度発掘資料展～	4/28～6/24	53	4,354	82	210
平成 30 年	特別展	海をわたる縄文人～津軽海峡文化圏の縄文～	7/21～9/2	43	5,440	126	215
平成 30 年	秋季企画展	どうぶつと縄文人	10/6～11/25	45	4,009	89	243
平成 30 年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.4-	12/15～3/21	75	2,254	30	78
令和元年	特別展	北の縄文世界-北海道・北東北の縄文遺跡群-	7/20～9/8	50	7,055	141	174
令和元年	秋季企画展	山のいとなみ	10/5～11/24	44	3,425	78	158
令和元年	冬季企画展	是川遺跡の壺形土器	12/14～4/17	100	3,114	31	205
令和 2 年	夏季企画展	泉山兄弟と是川遺跡	7/18～9/6	50	3,069	61	210
令和 2 年	秋季企画展	白神山地の縄文	10/10～11/23	39	3,597	92	250
令和 2 年	冬季企画展	是川遺跡の注口土器	12/15～3/31	85	1,961	23	143

過去 10 年間の特別展・企画展一覧

3. 教育普及の実績

前期考古学講座（10月～12月）：是川遺跡の軌跡ー100年のあゆみを振り返るー

実施	内 容	講 師	参加者(人)
10/10(土)	是川、陸奥の考古学史のなかで	福田友之氏 (元青森県立郷土館 副館長)	48
11/28(土)	是川が輝いていたー相次ぐ新発見の行方ー	工藤竹久氏 (青森県文化財保護審議会 委員)	37
12/19(土)	国史跡 真福寺貝塚の成り立ちについて ー平成28～令和2年度の発掘調査成果からー	吉岡卓真氏 (さいたま市教育委員会 文化財保護課 主査)	34
合 計			129

後期考古学講座（3月）：北海道・北東北の縄文遺跡群と世界遺産6

実施	内 容	講 師	参加者(人)
3/13(土)	田小屋野貝塚が語る縄文の暮らし	羽石智治氏 (つがる市教育委員会 社会教育文化課 文化財保護係長)	43
3/20(土)	世界遺産 百舌鳥・古市古墳群 ーその価値と今後の課題ー ※インターネット中継による講演	十河良和氏 (堺市世界遺産課 課長)	36
合 計			79

これかわ考古学クラブ

実施	内 容	講 師	参加者(人)
7/25(土)	開講式	小久保拓也・市川健夫・落合美怜・ 佐藤ちひろ (当館学芸員)	7
8/1(土)	バックヤードツアーほか	小久保拓也・市川健夫・落合美怜・ 佐藤ちひろ (当館学芸員)	6
9/12(土)	縄文土器を観察する	小久保拓也・落合美怜・佐藤ちひろ (当館学芸員)	3
9/19(土)	一王寺遺跡発掘体験	小久保拓也・佐藤ちひろ・宇庭瑞穂 (当館学芸員)	7
10/3(土)	土器編年ってなんだろう？	小久保拓也・市川健夫・落合美怜・ 佐藤ちひろ (当館学芸員)	4
12/5(土)	土器の文様を真似してみよう	小久保拓也・市川健夫・落合美怜・ 佐藤ちひろ (当館学芸員)	5
2/6(土)	修了式	小久保拓也・市川健夫・落合美怜・ 佐藤ちひろ (当館学芸員)	6
合 計			38

夏季企画展ギャラリートーク

実施	講 師	参加者(人)
7/18(土)	佐藤ちひろ (当館学芸員)	9
7/25(土)	佐藤ちひろ (当館学芸員)	7
8/1(土)	佐藤ちひろ (当館学芸員)	2
8/8(土)	落合美怜 (当館学芸員)	8
8/15(土)	落合美怜 (当館学芸員)	4
8/22(土)	佐藤ちひろ (当館学芸員)	17
8/29(土)	市川健夫 (当館学芸員)	9
合 計		56

夏季企画展考古学講座

実施	内 容	講 師	参加者(人)
8/29(土)	大山柏の史前学と是川遺跡 ※インターネット中継による講演	阿部芳郎氏 (明治大学 文学部 教授)	64
合 計			64

縄文の布を編む講座

実施	内 容	講 師	参加者(人)
9/5(土)	解説「縄文の布について」	佐藤ちひろ (当館学芸員)	16
	実習「縄文の布を編む」	縄文是川ボランティア	
合 計			16

縄文土器作り講座

実施	内 容	講 師	参加者 (人)
10/17(土)	素地土作り	落合美怜(当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	20
10/24(土)	縄文土器作り(成形作業)	落合美怜(当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	18
3/27(金)	縄文土器野焼き	落合美怜・佐藤ちひろ(当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	19
合 計			57

秋季企画展ギャラリートーク

実施	講 師	参加者 (人)
10/10(土)	市川健夫(当館学芸員)	7
10/17(土)	佐藤ちひろ(当館学芸員)	11
10/24(土)	落合美怜(当館学芸員)	11
10/31(土)	市川健夫(当館学芸員)	12
11/7(土)	落合美怜(当館学芸員)	12
11/14(土)	佐藤ちひろ(当館学芸員)	7
11/21(土)	市川健夫(当館学芸員)	9
合 計		69

秋季企画展考古学講座

実施	内 容	講師	参加者 (人)
11/7(土)	白神山地の恵みと西日屋縄文遺跡群	齋藤岳氏(青森県埋蔵文化財調査セン ター 総括主幹)	49
合 計			49

遺跡調査報告会

実施	内 容	講 師	参加者 (人)
11/14(土)	一王寺遺跡	宇庭瑞穂(当館学芸員)	38
	石橋遺跡	山田貴博(当館学芸員)	
	八戸北インター第2工業団地予定地	上ノ山拓己(当館学芸員)	
合 計			38

サポートスタッフ研修会(5～6月)

実施	内 容	講 師	参加者 (人)
6/6(土)	オリエンテーション	落合美怜(当館学芸員)	19
6/13(土)	是川遺跡と世界遺産登録について	市川健夫(当館学芸員)	22
6/27(土)	是川縄文館常設展示解説	落合美怜(当館学芸員)	24
合 計			65

※新型コロナウイルス感染症対策のため、通常6回開催のところを3回に短縮

サポートスタッフ研修会(1～2月)

実施	内 容	講 師	参加者 (人)
1/23(土)	オリエンテーション	落合美怜(当館学芸員)	23
1/30(土)	滑石の勾玉作りと火起こし実習	落合美怜・佐藤ちひろ(当館学芸員)	16
2/6(土)	常設展示解説①	市川健夫・落合美怜(当館学芸員)	24
2/20(土)	常設展示解説②(演習)	落合美怜・佐藤ちひろ(当館学芸員)	21
2/27(土)	世界遺産に関する講話	小久保拓也(当館学芸員)	26
合 計			110

※新型コロナウイルス感染症対策のため、通常6回開催のところを5回に短縮

日曜日縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実施	内 容	参加者(人)
夏季前期：6/7(日)～7/12(日) 6回	火起こし・滑石の勾玉作り	29
夏季後期：8/23(日)～10/25(日) 10回		157
冬 季：11/1(日)～3/28(日) 20回		191
合 計		377

※新型コロナウイルス感染症対策のため4月～5月は体験コーナーを中止。6/7からはメニューを限定して対応。

夏休み縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実施	内 容	参加者(人)
7/18(土)～8/16(日) 10回	火起こし・滑石の勾玉作り	167
合 計		167

「是川縄文の日」体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実施	内 容	参加者(人)
11/3(火・祝)	滑石の勾玉作り	48
合 計		48

土曜体験教室

実施	内 容	講 師	参加者(人)
5/2(土)	滑石でペンダント作り教室		中止
7/4(土)	合掌土偶作り教室	落合美怜(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	19
9/19(土)	シカの角でペンダント作り教室	落合美怜(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	18
11/21(土)	ドングリで縄文クッキング	落合美怜・佐藤ちひろ(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	18
1/9(土)	縄文土器の拓本作り教室	落合美怜・佐藤ちひろ(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	7
3/6(土)	縄文土偶作り教室	落合美怜・佐藤ちひろ(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	17
合 計			79

※ 5/2：新型コロナウイルス感染症対策のため中止

学芸員等による講話・授業

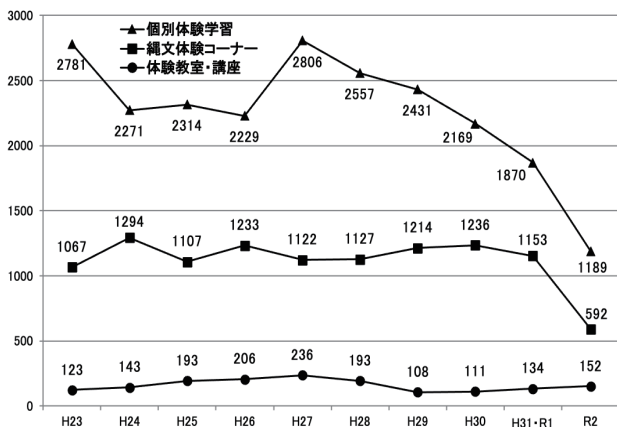
実施	内 容	団体・場所	参加者(人)
7/10(金)	講話「八戸市の遺跡と縄文」	八戸市総合教育センター（於：是川縄文館）	47
10/24(土)	講話「漆と祈りと縄文世界」	千歳市文化財普及啓発事業講演会（於：千歳市北ガス文化ホール）	30
11/1(日)	講話「縄文プレゼン 発掘から100年を知ろう」	はちのへ縄文フェス in マチニワ vol.2（於：八戸まちなか広場マチニワ）	30
11/28(土)	面接授業「是川遺跡からわかる縄文考古学」	放送大学八戸サテライトスペース（於：是川縄文館）	13
11/29(日)	面接授業「是川遺跡からわかる縄文考古学」	放送大学八戸サテライトスペース（於：是川縄文館）	13
2/27(土)	講話「中居の低湿地調査」	縄文是川ボランティアガイド学習会（於：是川縄文館）	17
合 計			150

ボランティアによる体験学習の指導

※参加者数は、各団体来館者のうち実際の体験参加者（引率者等含む）の数を記載する

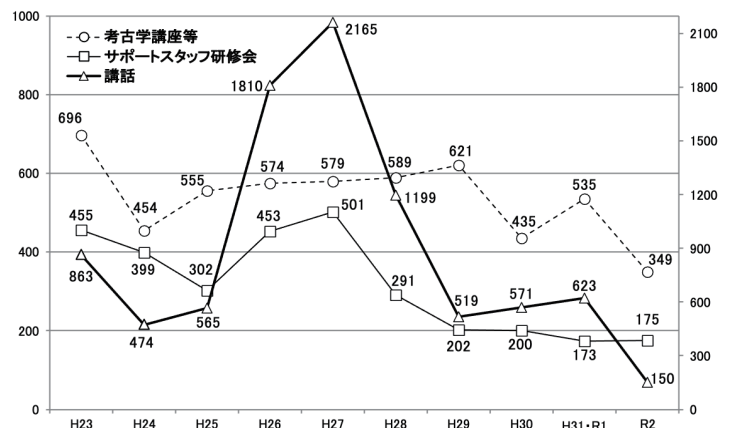
月日	体験内容	団体名	参加者	月日	体験内容	団体名	参加者
7/7	火起こし	八戸市立島守小学校 6 学年	4	10/8	火起こし	日赤横浜町分区	16
7/10	火起こし・土製ペンダント作り	八戸市総合教育センター 初任者研修	42	10/9	滑石の勾玉作り	八戸市立多賀台小学校 6 学年	27
7/11	縄文土器作り	青森県立八戸商業高等学校	6	10/13	滑石の勾玉作り	青森県立八戸東高等学校	24
7/17	滑石の勾玉作り	階上町立石鉢小学校 5・6 学年	74	10/13	火起こし	八戸市立白銀小学校 6 学年	6
7/28	縄文土器作り	八戸市鷗盟大学	4	10/16	火起こし	中泊町立中里小学校 6 学年	9
8/22	滑石の勾玉作り	八戸市博物館（実習生）	6	10/22	滑石の勾玉作り	八戸工業大学第二高等学校 附属中学校	39
8/26	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 2 学年	18	10/29	滑石の勾玉作り	むつ市立大畑中学校 3 学年	46
8/27	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 5 学年	17	11/2	滑石の勾玉作り	八戸市立城下小学校 6 学年	38
8/27	滑石の勾玉作り	三八学友会	7	11/6	滑石の勾玉作り	田子町立田子小学校 6 学年	30
8/28	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 3 学年	29	11/10	滑石の勾玉作り	八戸市立江陽小学校 6 学年	34
8/31	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 4 学年	25	11/10	滑石の勾玉作り	青森県立八戸東高等学校 2 学年	4
9/2	土製ペンダント作り	八戸市立是川小学校 1 学年	34	11/17	滑石の勾玉作り	階上町立道仏小学校 5・6 学年	12
9/3	滑石の勾玉作り	八戸市立三条小学校 6 学年	61	11/17	滑石の勾玉作り	八戸市立柏崎小学校 6 学年	90
9/7	縄文土器作り※	八戸市立是川小学校 5 学年	1	11/21	火起こし	青森県企画政策部世界文化遺産 登録推進室	1
9/8	火起こし	青森県立八戸第二養護学校 6 学年	5	11/26	滑石の勾玉作り	平内町立小湊小学校 6 学年	40
9/8	火起こし	みどり幼稚園	26	11/26	滑石の勾玉作り	おいらせ町立下田小学校 6 学年	23
9/10	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 6 学年	29	11/27	滑石の勾玉作り	五戸町立切谷内小学校 6 学年	9
9/11	滑石の勾玉作り	八戸市立鮫小学校 5 学年	47	11/27	滑石の勾玉作り	五戸町立上市川小学校 6 学年	15
9/12	滑石の勾玉作り	はちのへ Local 旅	4	12/10	火起こし	青森県立八戸第二養護学校 6 学年	8
9/15	滑石の勾玉作り	階上町立大蛇小学校 5・6 学年	14	12/15	滑石の勾玉作り	八戸市立城北小学校 6 学年	77
9/25	火起こし・滑石の勾玉作り	八戸市立種差小学校	17	12/18	滑石の勾玉作り	八戸市立南郷小学校 6 学年	23
9/29	滑石の勾玉作り	八戸市立明治中学校	22	1/15	火起こし	株式会社ピーケア	2
10/2	滑石の勾玉作り	八戸市立鮫中学校 2 学年	46	1/26	滑石の勾玉作り	八戸市立下長小学校 6 学年	48
10/6	火起こし・滑石の勾玉作り	八戸市立市川中学校 1 学年	22	1/28	火起こし・滑石の勾玉作り	階上町立小舟渡小学校 5・6 学年	8
合 計							1,189

※出前教室 実施場所：八戸市立是川小学校



過去 10 年間の体験学習の利用者推移

※平成 23 年度は 7 月からスタート。
 ※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、4 月～5 月の体験受け入れを中止した。



過去 10 年間の講演会等の利用者推移

※平成 23 年度の考古学講座等には開館記念講演会等を含む。
 令和 2 年度の考古学講座及び遺跡調査報告会は新型コロナウイルス感染症対策で定員制限（40～50 名）を行った。
 サポートスタッフ研修会は平成 28 年度から開催回数減となっている。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、一部中止や縮小の対応をとった。

4. 是川縄文の日

(1) 経緯

泉山岩次郎・斐次郎兄弟が初めて是川遺跡を発掘したのが大正9年11月で、令和2年で100周年を迎えた。この発掘を契機に、是川遺跡には多くの著名な研究者が訪れ全国的に有名となるが、兄弟は遺跡を保護し出土品を他に流出させず是川の地に残すことに尽力する。今日、是川の地において、多くの市民が出土品を鑑賞できるのは兄弟の尽力の賜物であり、兄弟のこれまでの功績を讃えるとともに、この八戸の宝を将来に引き継いでいく必要がある。

また、是川遺跡は、世界遺産登録を目指す「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産の一つで、世界に誇れる文化遺産であり、登録に向けた機運醸成のためにも、より一層の情報発信が必要である。

さらに、是川地区の風張1遺跡からは、国宝「合掌土偶」が出土しており、世界に誇れる八戸の宝の一つである。市民一人一人が、このような是川の縄文遺跡の価値や縄文文化の多様な魅力を理解するとともに、誇りを持つことができるよう、100周年の節目となる令和2年に記念日と普及月間を定め、継続して市民に情報発信していくこととしたものである。

(2) 名称及び期日

毎年11月3日を「是川縄文の日」、毎年11月を「是川縄文普及月間」とする。

(3) 実施概要

○是川縄文の日

期 日 11月3日(火・祝) 9:00～17:00

来場者数 583人

内 容 ①無料開放 ②記念品配布 ③出土品整理作業紹介(動画) ④学芸員による常設展ギャラリートーク ⑤縄文体験コーナー(滑石の勾玉づくり) ⑥土偶のお面づくり(工作キット配布) ⑦「いのるん」クイズ ⑧発掘調査出土品展示(～11/14まで) ⑨JOMONクロスワード(～11/30まで) ⑩コーヒー1杯無料サービス、スイーツ無料サービス(30個限定)

○是川縄文普及月間

期 日 11月1日(日)～30日(月)

来場者数 2,971人

内 容 ①秋季企画展「白神山地の縄文」(10/10～11/23) ②秋季企画展考古学講座「白神山地の恵みと西目屋縄文遺跡群」(11/7) ③秋季企画展ギャラリートーク(期間中毎週土曜) ④遺跡調査報告会(11/14) ⑤ドングリで縄文cooking(11/21) ⑥是川遺跡発掘100周年記念考古学講座「是川が輝いていたー相次ぐ新発見の行方ー」(11/28) ⑦日曜日縄文体験コーナー(毎週日曜) ⑧はちのへ縄文フェス(於:マチニワ 11/1) ⑨是川縄文アートプロジェクトお披露目会(於:是川中央公園 11/3) ※⑧、⑨は関連事業



是川縄文の日チラシ



いのるん出沒に喜ぶ子どもたち



学芸員による常設展ギャラリートーク



いのるんクイズに夢中になる子どもたち

5. 八戸圏域広域的体験学習支援事業（はっふる隊）

平成 27 年度から八戸市教育委員会を中心に開始した連携事業。

「発見！ふるさと体験隊」（はっふる隊）という名称のもと、八戸圏域連携中枢都市圏（八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町）の小学校に年 1 回、貸切バスを無償で活用してもらえるようにし、圏域内の文化・スポーツ施設での学外研修を支援する取り組みである。当館においても市内小学校を含め、圏域内の小学校から体験学習・展示見学で多く活用されるようになった。

令和 2 年度は、八戸市内 6 校 236 人、市外 4 校 64 人、計 300 人の児童の体験学習指導、展示解説に対応した。これは、利用された圏域内の 21 施設の中では 5 番目に多い利用であり、全体（4,310 人）の約 7% を占める。

月 日	学校名	内 容	人数(人)
9月3日	八戸市立三条小学校6学年	見学・体験	59
9月15日	階上町立大蛇小学校5・6学年	見学・体験	14
10月9日	八戸市立多賀台小学校6学年	見学・体験	27
10月13日	八戸市立白銀小学校6学年	見学・体験	30
11月2日	八戸市立城下小学校6学年	見学・体験	38
11月6日	田子町立田子小学校6学年	見学・体験	30
11月10日	八戸市立江陽小学校6学年	見学・体験	34
11月17日	階上町立道仏小学校5・6学年	見学・体験	12
1月26日	八戸市立下長小学校6学年	見学・体験	48
1月28日	階上町立小舟渡小学校5・6学年	見学・体験	8
計 10校 300人			

令和 2 年度はっふる隊実績

6. 地域連携

○是川縄文アートプロジェクト 2020 への協力

八戸市市民連携推進課が所管する「地域の底力」実践プロジェクト促進事業に採択された「是川団地活性化をめざした是川縄文アートプロジェクト事業」への連携協力。地域住民の発案によるもので、是川団地内の公園にある全長 27m のコンクリート壁面に縄文時代の文様等をモチーフにした壁画を描くプロジェクトである。描くモチーフは Web での公募により選定が行われた。当館では、プロジェクト会議において是川石器時代遺跡の世界遺産登録推進や史跡整備の取り組みについて紹介するとともに、縄文人のデザインに関する情報提供や審査協力等で連携を進めた。



完成した壁面アート

○市内中学校の職場訪問の受け入れ

八戸市教育委員会では、例年、市内公立中学校 2 年生を対象とした職場体験事業（さわやか八戸グッジョブウィーク）を実施しており、是川縄文館では中学生からの受入要望はできる限り応じ、学芸員としての業務の体験を実施している。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症防止対策により、さわやか八戸グッジョブウィークの実施が困難となったが、学校からの要望で 1 日に限って職場訪問の形で受け入れを行った。1 校 6 名の中学生の要望を受け入れ、学芸業務の基本となる出土品整理について体験活動を行うとともに学芸員という職業に関するインタビューに応じた。



職場訪問のようす

○放送大学との連携

放送大学が教育課程に基づき、学習センター・サテライトスペースが所在する地域の大学等の機関と連携して、実地での面接授業を行う事業。

放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペースとの連携により、是川遺跡及び是川縄文館を活用した2日間計8回にわたる面接授業を開講している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止対策により、定員を15名に減じて青森県内の学生に限って開講した。是川遺跡や是川縄文館に関心をもつ13名の受講生が集まり、感染症対策をとりつつ講義を実施した。

・講義内容

科目名：「是川遺跡からわかる縄文考古学」(全8回)

第1回「考古学の研究方法とその広がり」

第2回「動物考古学からみた縄文人の暮らし」

第3回「是川遺跡の立地と環境」

第4回「縄文土器作り」

第5回「縄文時代の漆文化」

第6回「是川遺跡の縄文工芸」

第7回「縄文時代晩期の文化と社会」

第8回「世界遺産登録と「北海道・北東北の縄文遺跡群」」

日 時：11月28日(土)(第1回-第4回)、11月29日(日)(第5回-第8回) 10:00～17:10

会 場：是川縄文館 2F 企画展示室ほか

講 師：市川 健夫(当館主査兼学芸員)・小久保 拓也(当館主幹)・杉山 陽亮(社会教育課主幹)



放送大学面接授業

○高校との連携

・八戸圏域高等学校地域活動促進事業への協力

世界遺産登録に向けて遺跡への関心を高めることを目的とした、千葉学園高等学校生徒による縄文をデザインしたファッション制作。学芸員が縄文時代のファッションや文化について助言協力を行った。注口土器、深鉢形土器、皿形土器の3点を基にデザインした作品は、12月13日(日)に八戸ポータルミュージアムはっちで行われたファッションショーで発表された。

その後、より多くの方々の目に触れる機会を作るため、是川縄文館で展示公開を行った。

・八戸商業高等学校3年生研究課題への協力

八戸商業高等学校の事業への協力。生徒自ら課題を設定し取り組むグループ課題において、縄文文化をテーマにした生徒らへの指導を行ったほか、同グループが企画したイベントのチラシに掲載する画像の提供や、当日のイベント会場・器具の貸出しなども行った。



ファッションショー

○市民団体との連携

・はちのへ縄文フェス

平成30年度に市民によって発足した「八戸縄文遊人会」による世界遺産登録を応援するイベントで、今回で第2回目を迎えた。

開催にあたり、当館で準備協力を行うとともに、八戸縄文保存協会と連携してオリジナルグッズ販売や是川遺跡発掘100周年・世界遺産に関する講話、泉山兄弟に関するパネル展示等を行った。縄文を題材にした演劇やライブペインティング等多彩なコンテンツによって盛況を博した。



イベント「土器☆土器☆クッキー」のようす



はちのへ縄文フェス

7. 世界遺産登録へ向けた取り組み

○世界遺産登録へ向けた活動

八戸市は、北海道・青森県・岩手県・秋田県の4道県14市町による共同推進体制の一員として、史跡是川石器時代遺跡をはじめとする「北海道・北東北の縄文遺跡群（以下縄文遺跡群）」の世界遺産登録を目指している。

直近での登録を目指し、世界遺産登録推進会議・専門家委員会・担当者会議等で審査対策や包括的保存管理体制、構成資産の経過観察や遺産影響評価等の協議を進めてきた。令和2年度から経過観察を試し、庁内関係課で組織する「史跡是川石器時代遺跡保存活用連絡会議」の連携により年次報告書の作成を行った。また、遺産影響評価も試し、是川石器時代遺跡では公共事業2件（第1期整備事業における是川考古館除却工事及び史跡内容確認調査）と民間事業1件（小屋建替）の評価を行った。

世界遺産登録の実現には市民の理解が必要不可欠であり、これまで縄文遺跡群を紹介するパネル展開催や、登録推進フォーラム開催への協力、ロゴマークの活用等を行い、積極的なPRに努めている。令和2年度は、縄文遺跡群の構成資産や、国内の世界遺産を紹介する考古学講座を2回開催するとともに（→p10）、八戸駅や市中心街に世界遺産登録推進をPRするバナーフラッグの掲出を行ったほか、市広報誌面に連載記事を掲載する等、登録実現に向けた積極的な気運醸成を図った。

縄文遺跡群は、令和2年1月に国からユネスコ世界遺産センターへ推薦書が提出され、9月にはユネスコ諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）による現地調査が行われた。最短で令和3年度における世界遺産登録の実現が期待される。

○縄文遺跡群パネル展

期間 ①4月1日（水）～11月27日（金）
②11月27日（金）～3月31日（水）

場所 ①是川縄文館 ②八戸市庁 別館

概要 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の概要、各構成資産の紹介に関するA1版パネルを掲示した。



縄文遺跡群パネル展示（八戸市庁 別館）



バナーフラッグ（八戸駅）

令和2年度是川縄文館 後期考古学講座

北海道・北東北の縄文遺跡群と世界遺産 6

① 2021年 2月13日(土)
「世界文化遺産 百舌鳥・古市古墳群
—その価値と今後の課題—」
十河 良和 氏（本市世界遺産課 課長）

② 2021年 3月13日(土)
「田小屋野貝塚が語る縄文のくらし」
羽石 智治 氏
（つがる市教育委員会 社会教育文化課 文化財保護係長）

会場：是川縄文館 1階 体験交流室
時間：14時～16時
聴講無料・要申込（50名まで）
※定員に達し次第、受付を終了しますので、お早めにお申し込みください。
※新型コロナウイルス感染症の流行状況により、講座の中止や講義方法の変更（インターネット中継など）をする場合がございます。
※ご来館の際はマスクの着用をお願いします。

みえてきた、世界遺産登録！

お申し込み・お問い合わせは
八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館
〒031-8511 青森県八戸市中央1丁目11
http://www.kanokawa-jomon.jp/ TEL0178-38-9511

考古学講座チラシ



考古学講座（講師：十河 良和 氏）
※インターネット中継による講演

8. ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」

早稲田システム開発株式会社が運営する、学芸員が作成した解説文等をスマートフォンで楽しむことができるアプリ。当館では、令和2年9月30日から、日本語解説・英語解説・英語音声の提供を開始し、日本語音声については1月から提供した。英語解説、英語音声の作成・収録はニュージーランドの大学院生、日本語音声の収録は青森県立八戸東高等学校の放送部の協力のもと行われた。

令和3年1月からは、ポケット学芸員をインストールした端末とヘッドホンの無料貸し出しも行っている。令和2年度中は20台の利用があった。



館内に設置中のガイドアプリの案内

9. 調査研究

(1) 共同研究

【第3期共同研究】

是川縄文館では調査研究を主たる事業として掲げ、大学等の研究機関との共同研究事業を推進している。共同研究により蓄積された質の高い成果を、館事業で公開活用することを目的としている。

第1・2期共同研究では、縄文時代の八戸地域における環境と人の関わりについて研究を進め、その成果を通して、環境変動に適應してきた縄文人による、文化の形成や変遷の解明が課題として認識された。八戸地域は、先史時代から物流などの拠点であり、さまざまな物資・情報が集まる地域である。ほかの地域の文化要素があいまって豊かな文化を育んできたことが想定される。

この課題に取り組む上で、近年、土器の胎土に含まれる火山ガラスの分析・研究が注目されている。この研究を主導する弘前大学大学院と協議を行い、平成30年度から共同研究を推進することとした。

共同研究3年次にあたる令和2年度は、弥生時代後期から平安時代を対象として進めた。八戸地域のほか、奥入瀬川流域等の近隣地域も含めて分析サンプルの抽出・採取及び火山ガラス分析を行った。研究の推進にあたり、おいらせ町阿光坊古墳館、九戸村教育委員会、八戸市博物館（敬称略）からご協力をいただいた。

○共同研究テーマ 『火山ガラスからみた八戸地域における土器の変遷と地域間交流の解明』

火山列島である我が国から出土する縄文土器には、火山ガラスが豊富に含まれている。火山ガラスは、噴出源の火山によって化学組成が異なっており、同じ火山でも噴火時期によって産状に違いがみられる。

こうした特徴を活かして分析することで、土器の製作地域を特定することが可能となり、土器の搬入や搬出、模倣製作等の実態を明らかにすることができる。また、火山の噴出時期の年代がこれまでの研究によって蓄積されていることから、火山ガラスの違いによって土器の移り変わりを明らかにすることができる。

本共同研究では、こうした分析から土器の移り変わりや、他地域からの文化要素の抽出の精緻化を進め、八戸地域における先史時代文化の形成・変遷の解明を試みる。

○研究期間 令和2年4月～令和3年3月（平成30年～令和4年度の5ヵ年計画の3年目）

※さらなる分析の必要性から、事業期間を令和4年度までに1年延長させることとした。

○研究体制 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

弘前大学大学院人文社会科学部研究科（関根 達人 教授）

弘前大学大学院理工学研究科（柴 正敏 客員研究員・近藤 美左紀 氏）

○研究活動等

- ・火山ガラス分析用試料の検討及び抽出
- ・八戸市及び近隣地域（青森県おいらせ町・岩手県九戸村）における遺跡出土の土器（弥生時代～平安時代）89点の火山ガラス観察及び45点のサンプル採取
- ・火山ガラス分析
- ・共同研究成果展示協議

(2) 学芸員の研究等業績：令和2年4月～令和3年3月

【論文等】

令和2年6月

市川健夫 「亀ヶ岡式土器」・「史跡是川石器時代遺跡」『発掘された日本列島 2020 新発見考古速報』共同通信社

令和2年9月

佐藤ちひろ 『令和2年度夏季企画展図録 是川遺跡発掘 100 周年記念 泉山兄弟と是川遺跡』八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

令和2年10月

小久保拓也 「八戸市埋蔵文化財センターの取組み」『季刊考古学』153 雄山閣

令和2年11月

市川健夫 『令和2年度秋季企画展図録 白神山地の縄文』八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

令和3年2月

宇部則保 「IV. 黒山の昔穴遺跡周辺の須恵器流通」・「VI. 平安時代環濠集落・高地性集落と黒山の昔穴遺跡」『黒山の昔穴遺跡と関連遺跡』九戸村教育委員会

令和3年3月

宇部則保 「東北北部型土師器について」『八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館研究紀要』10 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

宇部則保 「馬淵川流域の遺跡動態-8世紀後半～9世紀前半-」・「赤彩土師器と北の地域性」『北上市立博物館研究報告』22 北上市立博物館

小久保拓也 「埋蔵文化財センターによる動画の公開」『デジタル技術による文化財情報の記録と利活用3』奈良文化財研究所研究報告27 奈良文化財研究所

小久保拓也 「史跡是川石器時代遺跡」『全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会 30 周年記念誌～史跡を活かしたまちづくり～』全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会

佐藤ちひろ・大野亨 「是川遺跡 100 年のあゆみ」『八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館研究紀要』10 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

【学会発表等】

令和2年10月

市川健夫 「漆と祈りと縄文世界」『千歳市文化財普及啓発事業講演会』

令和2年11月

市川健夫 「縄文プレゼン 発掘から 100 年を知ろう」『はちのへ縄文フェス in マチニワ vol.2』

市川健夫 「考古学の研究方法とその広がり」・「縄文土器作り実習」・「是川遺跡の縄文工芸」・「縄文時代晩期の文化と社会」『令和2年度第2学期放送大学面接授業 是川遺跡からわかる縄文考古学』

小久保拓也 「是川遺跡の立地と環境」・「縄文時代の漆文化」・「世界遺産登録と「北海道・北東北の縄文遺跡群」」 同上

令和3年2月

宇部則保 「中居の低湿地調査」『縄文是川ボランティアガイド学習会』

【教育】

令和2年11月

小久保拓也・市川健夫 放送大学 非常勤講師（面接授業担当）（再掲）

【他機関への指導・協力】

令和2年9月

宇部則保 八戸市法霊林遺跡発掘調査現地指導（青森県埋蔵文化財調査センター主催）

令和2年11月

宇部則保 八戸市法霊林遺跡ほか報告書作成指導（青森県埋蔵文化財調査センター主催）

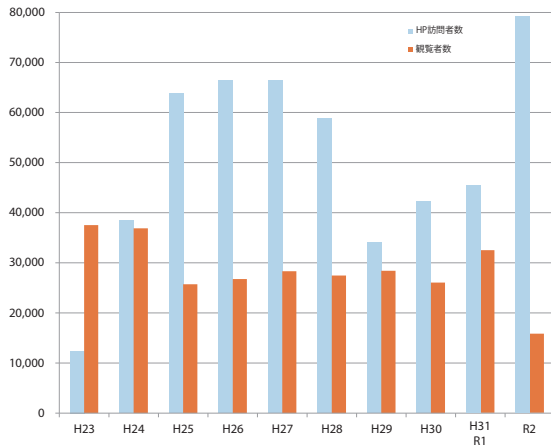
宇部則保 黒山の昔穴遺跡調査指導委員会出席（九戸村教育委員会主催）

10. 広報・情報発信

館事業の広報及び情報発信事業を下記のとおり行った。

①ホームページ

インターネットを利用した広報・情報発信としてホームページを開設している。各職員によるコンテンツの更新が簡便にできるよう、CMS（コンテンツマネジメントシステム）を使用し、管理を外部委託している。ホームページ訪問者数は前年より増加し、1日あたりの平均訪問者数は220人（令和2年4月～令和3年3月まで）であった。



月	HP 訪問者数	観覧者数	更新回数	平均 (日)	英語版 HP
4	4,364	161	2	145.5	140
5	4,368	213	5	140.8	85
6	6,556	792	9	218.5	81
7	7,167	1,503	8	231.2	17
8	7,452	2,329	6	240.4	9
9	9,481	2,010	6	316.0	20
10	9,409	2,709	10	303.5	32
11	7,366	2,971	3	245.5	26
12	6,060	839	7	195.5	26
1	5,347	500	6	172.5	63
2	5,446	740	7	194.5	36
3	6,427	1,091	2	207.3	24
計	79,443	15,858	71	220.0	559

ホームページ訪問者数と更新回数

②広報はちのへ「いのるん通信」

是川縄文館の最新情報のPRとともに、体験学習や発掘調査等の活動の参加者へインタビューし、内容を紹介する、是川縄文館の魅力伝える連載記事。市広報誌「広報はちのへ」において隔月連載（5・7・9・11・1・3月号）。99,000部発行。今年度は是川遺跡発掘100周年記念にちなみ、関連する内容を連載した。

5月号：第43回

「是川遺跡発掘100周年！」

7月号：第44回

「サポートスタッフ研修会のようす」

9月号：第45回

「是川遺跡の整備に向けて」

11月号：第46回

「是川遺跡クリーンデー」

1月号：第47回

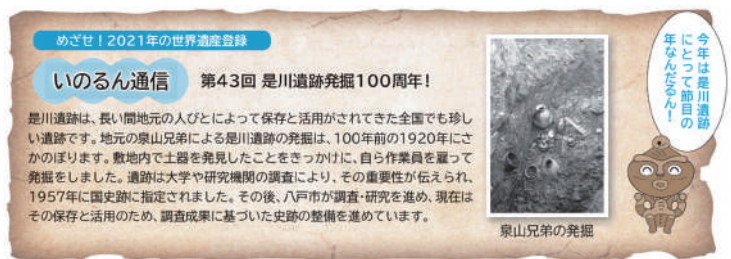
「発掘現場に行ってきたるん！」

3月号：第48回「注口土器大集合！」

③新聞記事

企画展・特別展をテーマとした連載記事を職員等が作成し、開催期間に合わせてデーリー東北新聞に掲載した。

夏季企画展 8/7,14,21,28 の4回



いのるん通信（第43回）



企画展連載記事（デーリー東北新聞）

④ 広告掲載

企画展や是川縄文館をPRするため、地元新聞等に広告を掲載した。

- ・夏季企画展 是川遺跡発掘 100 周年記念「泉山兄弟と是川遺跡」開催案内広告
デーリー東北新聞社 (7/15,29・8/12,26 朝刊)、東奥日報社 (7/17,31 朝刊)、岩手日報社・秋田魁新報社 (7/31 朝刊)、情報羅針盤コンパス (7/9)
- ・秋季企画展「白神山地の縄文」開催案内広告
デーリー東北新聞社 (10/15,28・11/4,18 朝刊)、東奥日報社・岩手日報社・秋田魁新報社 (9/17 朝刊)、情報羅針盤コンパス (9/25)
- ・是川縄文館開館 10 周年記念告知広告
縄文 ZINE 第 12 号 (2021/3/12)

⑤ BeFM「施設ガイド」

地元コミュニティラジオの施設ガイドで、是川縄文館のイベント情報について紹介した(2ヶ月に1度)。

⑥ 図録等刊行

研究紀要のほか、企画展図録等を下記のとおり刊行した。図録は館内ミュージアムショップで販売している。

- ・「掘り day はちのへ - 八戸市埋蔵文化財ニュース -」23 号 A4 版カラー 8 ページ
- ・夏季企画展図録「泉山兄弟と是川遺跡」A4 版カラー 100 ページ
- ・秋季企画展図録「白神山地の縄文」A4 版カラー 50 ページ
- ・「研究紀要」第 10 号 A4 版モノクロ 44 ページ

11. ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」

① ミュージアムショップ

国宝「合掌土偶」をデザインしたグッズ、アクセサリー、お菓子のほか、縄文時代をテーマとしたグッズ等を多数販売している。この中には、是川縄文館で展示解説や体験学習指導を行っている縄文是川ボランティアが製作した土器や土偶のレプリカも含まれている。また、一般書店では販売していない当館の常設展示図録や特別展等の図録なども販売している。是川が柿の里であることから、昨年度に引き続き冬季限定で干し柿の販売を行った。

【商品一例】

ポストカード、マグカップ、キーホルダー、ストラップ、Tシャツ、当館キャラクター「いのるん」グッズ、土偶及び土器等のレプリカ、お菓子(クッキー、人形焼、せんべいなど)、当館刊行物、考古学関連書籍等。

② 喫茶コーナー

古代米を使用した「縄文カレー」や縄文時代に食されていたと考えられるドングリを使用した「縄文らーめん」のほか、クルミをふりかけた「縄文ソフトクリーム」等を提供している。「これカフェ」の運営は、八戸縄文保存協会が行っている。



夏季企画展図録
「泉山兄弟と是川遺跡」



ミュージアムショップ

IV 埋蔵文化財調査等

1. 発掘調査事業概要

八戸市には、490 か所の周知の埋蔵文化財包蔵地（以下、遺跡）が存在する。遺跡内で開発行為を行う場合、文化財保護法 93 条（国又は地方公共団体等が開発主体の場合、同 94 条）が適用され、事前に八戸市教育委員会社会教育課と協議のうえ、工事着手の 60 日前までに遺跡内の工事に係る届出（通知）書の提出が必要となる。受理された届出により、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館では、まず遺跡の現状を把握し、必要に応じて試掘調査を行う。試掘調査の結果、開発行為により遺跡が破壊されると判断した場合、本発掘調査により遺跡を記録保存する等の保護処置をとっている。

また、開発行為が行われる対象地が遺跡の範囲外であっても、遺跡に隣接する場合または掘削が広範囲に及ぶ場合は文化財保護法 99 条に基づき、遺跡の範囲確認のための試掘調査（範囲確認調査）を行うことがある。調査の結果、開発対象地で遺構・遺物が発見された場合、遺跡の範囲変更または新規の遺跡登録を行っている。

ただし、開発行為による掘削範囲が狭小であり、地下への影響が軽微であると判断される場合、事前の試掘調査を行わず、工事立会で対応する場合がある。

八戸市内には長七谷地貝塚・是川石器時代遺跡・丹後平古墳群・根城跡の 4 か所の国指定史跡がある。開発行為がこれら指定地内で行われる場合、事前に八戸市教育委員会社会教育課と協議のうえ、現状変更等許可申請書の提出が必要となる。申請を受け、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館では、開発行為による史跡指定地の地下遺構への影響を判断するため、遺構の有無や遺構検出面までの堆積状況を把握するための確認調査を行っている。なお、史跡指定地内においては軽微な開発行為であっても、現状変更等許可申請書の提出が必要となる。

(1) 令和 2 年度の発掘調査

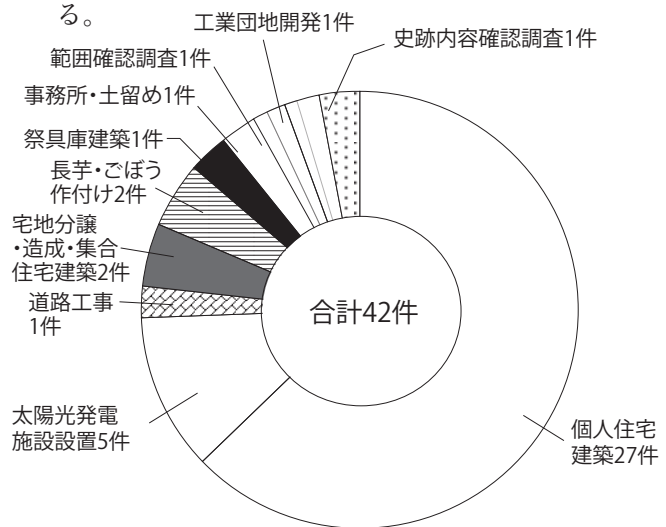
令和 2 年度は、24 か所の遺跡で計 42 件の発掘調査を実施した。調査種類の内訳は試掘調査 31 件、本発掘調査 11 件（試掘後の本調査を含む）、重要遺跡の内容確認調査 1 件である。

調査原因の種類別では、個人住宅建築 27 件、太

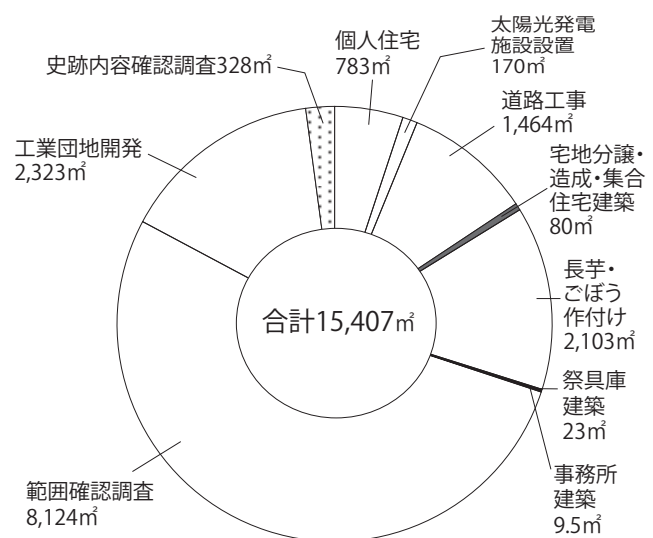
陽光発電設備設置 5 件、長芋作付け 2 件、範囲内容確認調査 2 件、建売住宅建築 2 件、その他祭具庫移築工事・事務所建設土留設置工事・工業団地建設・県道整備工事が各 1 件である。

発掘調査の件数は、個人住宅建築に伴うものが最も多く、全体の 64% を占める。太陽光発電設置がそれに次ぎ 12% で、個人住宅建築と合わせると全件数の約 4 分の 3 に及ぶ。この傾向は令和元年度と同様である。

調査面積では産業団地建設を含むその他が最も多く、長芋作付けがこれに次ぐ。産業団地建設に係る範囲内容調査と本調査だけでも約 5 割を占める。



令和 2 年度調査原因ごとの発掘件数内訳



令和 2 年度調査原因ごとの調査面積内訳

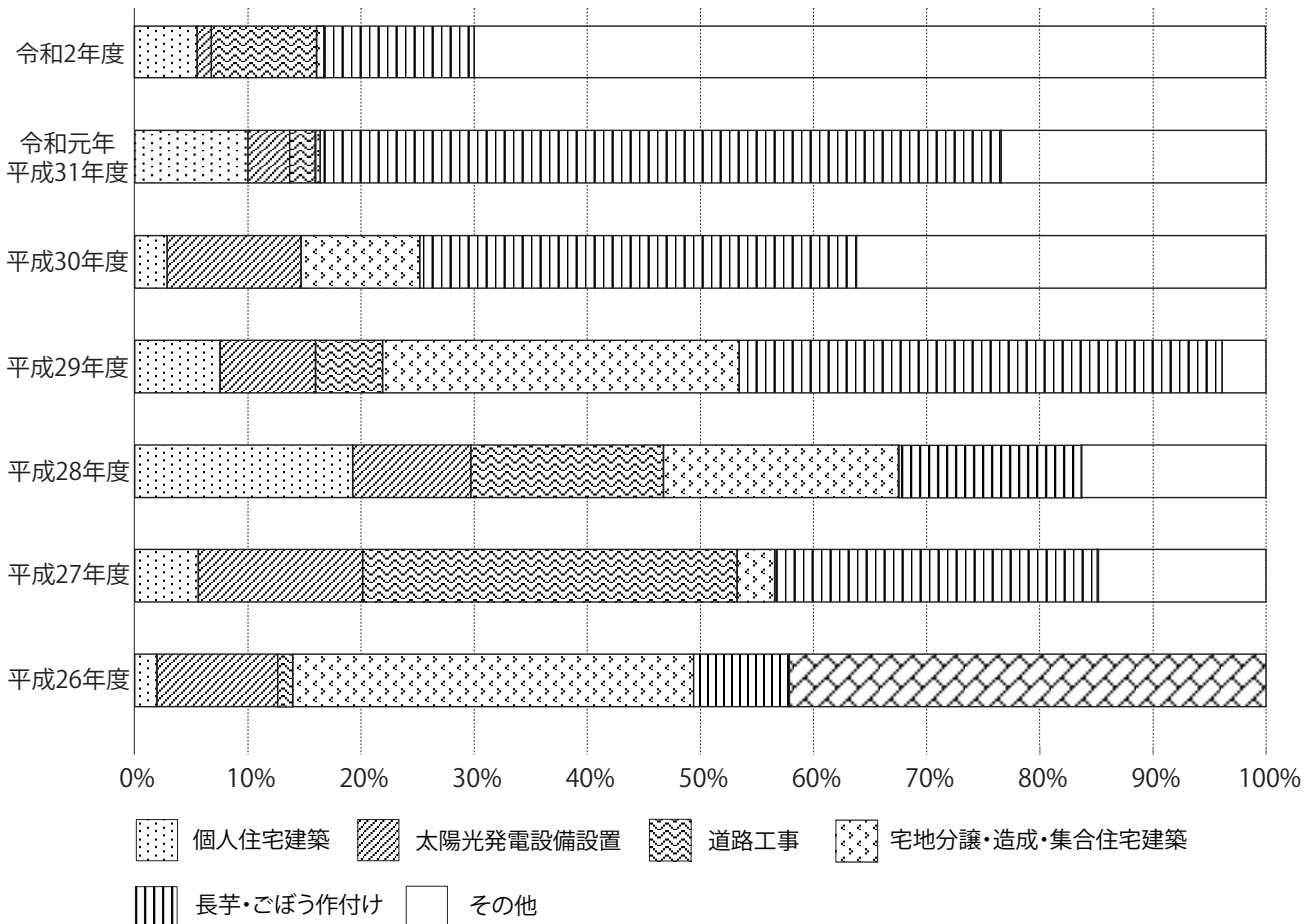
(2) 過年度との比較

令和 2 年度は平成 31・令和元年度と比べて、調査件数は 4 分の 3 に減少したものの、調査面積は約 1.4 倍に増加した。調査原因別にみると、個人住宅建築や太陽光発電設備設置、長芋作付けで、調査件数・調査面積ともに減少した一方、その他の調査が件数・面積ともに増加した。特に面積は 10,807㎡となり、令和元年度に比べて約 4.1 倍に大幅に増加し、平成 25 年度に次いで 2 番目の広さである。その原因は八戸北インター第 2 工業団地建設予定地の範囲内容確認調査と本調査が大規模に行われたことによる。

遺跡別では八戸城跡 7 件、田面木遺跡 5 件、雷遺跡 4 件となり、この 3 遺跡で全調査件数の約 4 割を占める。調査が特定の遺跡に集中する傾向は変わっていない。

調査原因	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度・令和元年度		令和 2 年度	
	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)
個人住宅建築	15	295	21	625	27	954	21	392	21	276	33	1,086	27	783
太陽光発電設備設置	8	1,611	9	1,616	10	518	3	438	10	1,146	9	401	5	170
道路工事	5	192	4	3,679	4	842	1	308	0	0	1	270	1	1,464
宅地分譲・造成、集合住宅建築	8	5,309	2	367	5	1,029	2	1,636	4	1,010	2	51	2	80
長芋・ごぼう作付	2	1,270	2	3,170	1	800	2	2,215	7	3,722	3	6,480	2	2,103
その他	10	6,315	9	1,661	12	809	9	201	13	3,491	8	2,538	5	10,807
合計	48	14,991	47	11,117	59	4,951	38	5,189	55	9,645	56	10,826	42	15,407

平成 26 ～令和 2 年度の調査原因件数と調査面積の内訳



平成 26 ～令和 2 年度の調査原因ごとの調査面積の推移



令和 2 年度八戸市内発掘調査位置図 (S : 12 万分の 1)

No	遺跡名	調査	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	種別 / 主な時代
1	酒美平遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和2年4月6日	4.00	集落跡 / 縄文・飛鳥・奈良・平安
2	大崎遺跡①	試掘調査	太陽光発電設備設置	令和2年4月6日～9日	24.00	散布地 / 縄文
3	田面木遺跡①	試掘調査	建売住宅建築	令和2年4月8・9日	8.00	集落跡 / 縄文・弥生・奈良・平安
4	北インター第2工業団地建設予定地 ※笹ノ沢(1)遺跡、笹ノ沢(2)遺跡、 笹ノ沢(4)遺跡、杉子沢(1)遺跡、平(2) 遺跡	試掘調査	範囲確認調査	令和2年4月13日～11月30日、 令和3年3月2日～31日	8,124.00	散布地・集落 / 縄文・平安
5	酒美平遺跡②	試掘調査	個人住宅建替	令和2年4月21日	15.00	集落跡 / 縄文・飛鳥・奈良・平安
6	石ノ鉢遺跡	試掘調査	太陽光発電設備設置	令和2年4月23日	14.00	散布地 / 縄文・弥生・奈良
7	田面木遺跡第57地点	試掘調査	個人住宅建築	令和2年5月11日～15日	24.50	集落跡 / 縄文・弥生・奈良・平安
8	中道遺跡	試掘調査	個人住宅建替	令和2年6月1日	40.50	散布地 / 縄文
9	松ヶ崎遺跡第20地点	試掘調査	太陽光発電設備設置	令和2年6月18日～22日	46.50	集落跡・貝塚 / 縄文・奈良・平安
10	狐森遺跡	試掘調査	太陽光発電設備設置	令和2年6月29日～7月1日	49.00	散布地 / 縄文
11	市子林遺跡第24地点	試掘調査	個人住宅建築	令和2年7月3日～6日	27.00	集落跡 / 縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世
12	山内遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和2年7月27・28日	12.00	散布地 / 縄文・平安
13	館平遺跡	試掘調査	個人住宅建築	令和2年8月7日	0.36	集落跡・城館跡 / 縄文・平安・中世
14	八戸城跡第49地点	試掘調査	個人住宅建築	令和2年8月7日・24日～27日	26.00	城館跡 / 縄文・弥生・古墳・近世・近代
15	田面木遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和2年8月11日	10.50	集落跡 / 縄文・弥生・奈良・平安
16	八戸城跡第48地点	試掘調査	祭具庫移転建築	令和2年8月19日～21日	22.50	城館跡 / 縄文・弥生・古墳・近世・近代
17	雷遺跡第11地点	試掘調査	個人住宅建替	令和2年9月7日～9月9日	25.00	散布地 / 縄文・平安
18	八戸城跡第50地点	試掘調査	個人住宅建築	令和2年9月8日～10日	57.50	城館跡 / 縄文・弥生・古墳・近世・近代
19	市子林遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和2年9月16日	9.50	集落跡 / 縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世
20	市子林遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和2年9月16日	6.00	集落跡 / 縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世
21	法霊林遺跡第8地点	試掘調査	個人住宅建築	令和2年9月28・29日	11.50	集落跡 / 縄文・奈良・平安
22	石橋遺跡	試掘調査	個人住宅建築	令和2年10月5日	7.00	集落跡 / 平安
23	烏館場遺跡	試掘調査	個人住宅建築	令和2年10月21日	15.25	散布地 / 縄文
24	雷遺跡第12地点	試掘調査	個人住宅建築	令和2年10月27日	30.56	散布地 / 縄文・平安
25	大崎遺跡②	試掘調査	太陽光発電設備設置	令和2年11月16・17日	36.00	散布地 / 縄文
26	山内遺跡②	試掘調査	事務所建築・土留新設	令和2年11月25日	9.50	散布地 / 縄文・平安
27	沢目遺跡	試掘調査	個人住宅建替	令和2年12月8日	9.75	散布地 / 縄文
28	坂中遺跡	試掘調査	個人住宅建築	令和2年12月17日	30.00	散布地 / 縄文・奈良・平安
29	八戸城跡第51地点	試掘調査	個人住宅建築	令和2年12月24・25日	13.00	城館跡 / 縄文・弥生・古墳・近世・近代
30	松ヶ崎遺跡	試掘調査	個人住宅建築	令和3年3月9日	11.00	集落跡・貝塚 / 縄文・奈良・平安
31	沢里山遺跡	試掘調査	建売住宅建築	令和3年3月11・12日	72.00	散布地 / 縄文・奈良・平安
32	八戸城跡第44地点	本発掘調査	個人住宅建築	令和2年4月6日～17日	40.00	城館跡 / 縄文・弥生・古墳・近世・近代
33	石橋遺跡第12地点	本発掘調査	長芋作付	令和2年5月11日～8月3日	1,100.00	集落跡 / 平安
34	田面木遺跡第57地点	本発掘調査	個人住宅建築	令和2年6月1日～23日	64.30	集落跡 / 縄文・弥生・奈良・平安
35	田面木遺跡第54地点	本発掘調査	個人住宅建築	令和2年7月17日～8月21日	63.58	集落跡 / 縄文・弥生・奈良・平安
36	雷遺跡第11地点	本発掘調査	個人住宅建築	令和2年10月5日～9日	44.00	散布地 / 縄文・平安
37	八戸城跡第50地点	本発掘調査	個人住宅建築	令和2年10月7日～11月16日	155.00	城館跡 / 縄文・弥生・古墳・近世・近代
38	松ヶ崎遺跡第11地点	本発掘調査	長芋作付	令和2年10月12日～11月13日	1,003.31	集落跡・貝塚 / 縄文・奈良・平安
39	雷遺跡第12地点	本発掘調査	個人住宅建築・外構工事	令和2年11月17日	30.56	散布地 / 縄文・平安
40	一王寺遺跡	確認調査	史跡内容確認調査	令和2年8月3日～10月9日	328.00	散布地・集落 / 縄文・弥生・奈良・平安・近世
41	八戸城跡第45・46・47地点	本発掘調査	道路改築	令和2年5月7日～12月15日	1,464.00	城館跡 / 縄文・弥生・古墳・近世・近代
42	笹ノ沢(2)遺跡	本発掘調査	工業団地開発	令和2年9月7日～12月3日	2,323.00	集落 / 縄文

市内遺跡発掘調査事業

受託事業

IV 埋蔵文化財調査等

令和2年度八戸市内遺跡発掘調査一覧

2. 調査概要

(1) 範囲確認調査

①八戸北インター第2工業団地建設予定地 (p25-No.4)

調査地：八戸市大字尻内町字杉子沢・笹ノ沢、
大字河原木字平地内

担当職員：上ノ山 拓己・小笠原 善範・宇部 則保・
宇庭 瑞穂・山田 貴博

調査概要：八戸北インター第2工業団地の建設に伴い、
建設範囲を対象として、平成30年度から範囲確認調
査を行っている。今年度は建設予定地内23か所で調
査を実施し、任意でE～C'地点と付番した。

今年度は用地買収及び立木の伐採が進展したため、
調査対象範囲の大部分で試掘調査を行うことができた。
しかしながら、今年度中に調査できなかった地点
も残されているため、次年度も試掘調査を継続する予
定である。

a. 笹ノ沢(2)遺跡及び近接地

調査地：八戸市大字尻内町字杉子沢地内

検出遺構：溝状土坑

出土遺物：縄文土器

調査概要：遺跡範囲のうち、平成30年度に試掘調査
を行わなかった地点にトレンチを設定して調査を行っ
た。調査の結果、遺跡範囲の東部では40～200cm
掘削したところで中礫浮石を含む暗褐色土層～高館火
山灰層に達し、溝状土坑3基を確認した。

b. 笹ノ沢(4)遺跡及び近接地

調査地：八戸市大字尻内町字笹ノ沢地内

検出遺構：竪穴建物跡、溝状土坑

出土遺物：土師器

調査概要：遺跡範囲及び隣接地にトレンチを設定して
調査を行った。調査地点のうち、遺跡南側の隣接地
であるR・S地点では、10～80cm掘削したところ、
黄褐色ローム層に到達し、竪穴建物跡4棟と性格不明
遺構1基、溝状土坑3基、複数のピットを確認した。

c. 杉子沢(1)遺跡及び近接地



笹ノ沢(2)遺跡 遠景



笹ノ沢(2)遺跡 遺構検出状況



笹ノ沢(4)遺跡 遠景



笹ノ沢(4)遺跡 遺構検出状況

調査地：八戸市大字尻内町字杉子沢・字笹ノ沢地内
 検出遺構：溝状土坑
 出土遺物：縄文土器
 調査概要：遺跡範囲及び隣接地にトレンチを設定して調査を行った。調査地点のうち、遺跡範囲北部では、10～150cm 掘削したところ、中礫火山灰とみられる浮石を含む暗褐色土層～黄褐色ローム層に到達し、溝状土坑 1 基を確認し、堆積土から縄文時代早期とみられる土器片が出土した。



杉子沢 (1) 遺跡 溝状土坑

d. 笹ノ沢 (1) 遺跡及び近接地
 調査地：八戸市大字尻内町字笹ノ沢地内
 検出遺構：土坑、溝状土坑
 出土遺物：縄文土器
 調査概要：遺跡範囲北部にトレンチを設定して調査を行った。調査の結果、25～220cm 掘削したところで遺構確認面に達し、土坑 2 基と溝状土坑 5 基を確認した。



笹ノ沢 (1) 遺跡 遺構検出状況

e. 平 (2) 遺跡及び近接地
 調査地：八戸市大字河原木字平地内
 検出遺構：溝跡、土坑、性格不明遺構、溝状土坑
 出土遺物：縄文土器、石器
 調査概要：今回の試掘調査の結果、新規登録された遺跡である。遺跡範囲全体にトレンチを設定して調査を行った。その結果、30～120cm 掘削したところで遺構確認面である中礫火山灰とみられる浮石を含む暗褐色土層～ローム漸移層に達し、溝跡 2 条、土坑 4 基、性格不明遺構 2 基、溝状土坑 6 基を確認した。また、遺物は縄文時代早期後葉～前期前葉とみられる縄文土器や石器が遺構外から出土した。

(2) 本発掘調査



平 (2) 遺跡 遠景



平 (2) 遺跡 遺構検出状況

①石橋遺跡第 12 地点 (p25-No.33)

調査地：八戸市大字新井田字妻ノ神 37-1

担当職員：山田 貴博・宇部 則保

調査概要：

ア．遺跡の概要

八戸市庁から南東へ約 4km の八戸市新井田地区に所在し、新井田川右岸の標高約 47 ～ 72m の丘陵に立地する。

これまで 11 地点で発掘調査が行われており、縄文時代、平安時代、近世の遺構・遺物が確認されている。第 12 地点の調査において、竪穴建物跡をはじめとする平安時代の遺構が高密度で多く検出されたため、当該時期の集落が形成されていたと考えられる。

イ．調査に至る経緯

調査対象地は遺跡の南東に位置し、現況は畑地である。長芋作付けにともない、平成 30 年 9 月 5 日付で文化財保護法第 93 条第 1 項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。これに基づき、平成 30 年 10 月 22 日から 31 日に試掘調査を行ったところ、開発範囲全体に遺構が分布していることを確認した。これを受け、届出者と協議したところ、平成 31 ～令和 2 年度の 3 ヶ年で本発掘調査を実施することで合意した。令和 2 年度の調査期間は令和 2 年 5 月 11 日から 8 月 4 日、調査面積は約 1,100㎡である。

ウ．検出遺構

【縄文時代】 土坑 1 基

【平安時代】 掘立柱建物跡 1 棟、
竪穴建物跡 11 棟、土坑 4 基、
焼土遺構 4 基

【不明】 土坑 29 基、土坑墓 1 基

エ．出土遺物

【平安時代】 土師器坏・甕・小型土器、須恵器甕、石器、石製品、鉄製品、鍛冶関係遺物、動物遺存体

【近世以降】 陶磁器、銭貨、人骨

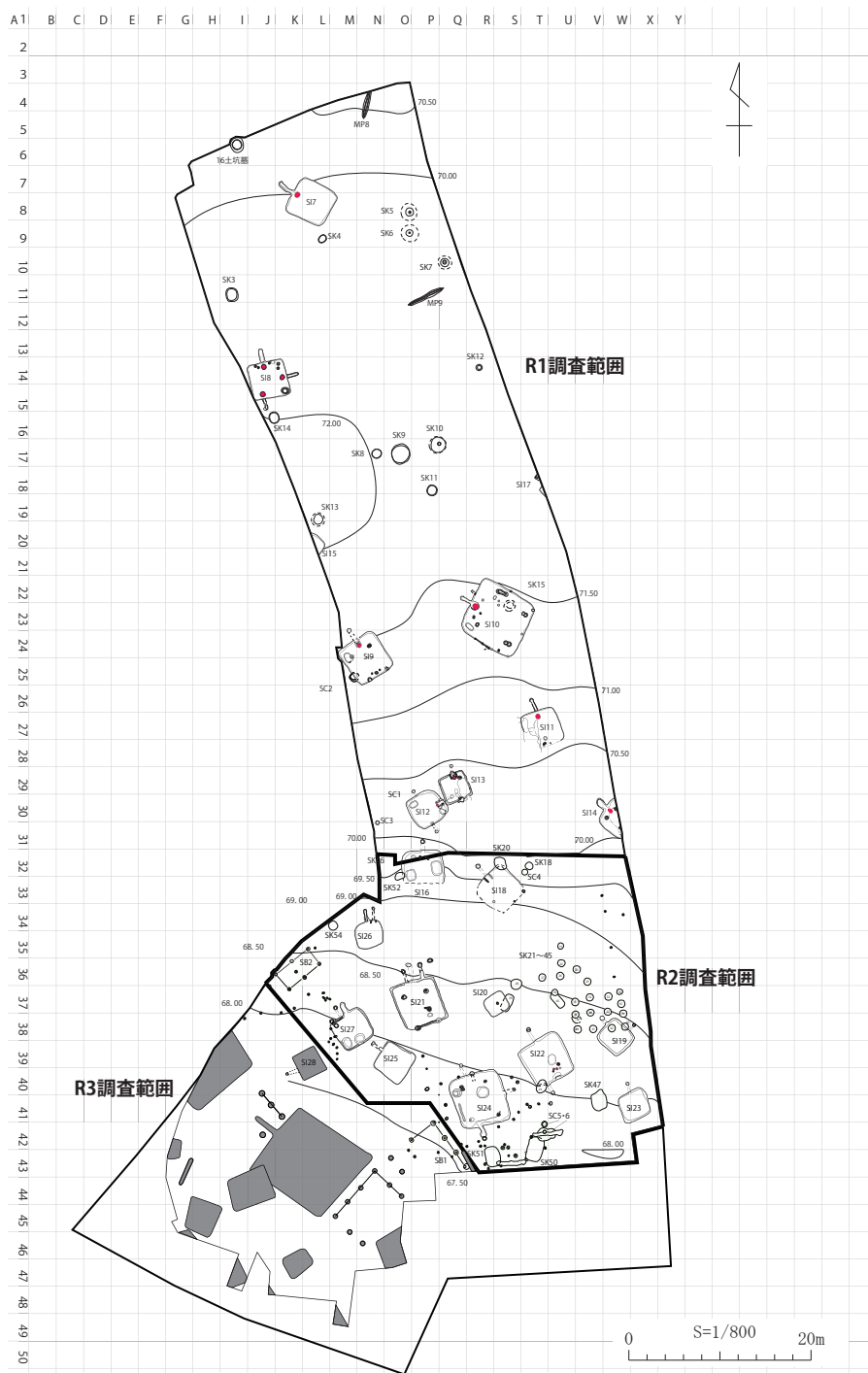
オ．調査成果

検出された 11 棟の竪穴建物跡のうち、2 棟 (SI21・SI22) で鍛冶炉が確認された。また、それにとまなう鍛冶関係遺物や鉄製品も多く検出されたことから、集落内で鉄製品の生産や加工が行われていたとみられる。

出土遺物の特徴や自然科学分析の結果から平安時代の中でも 9 ～ 10 世紀前半頃に集落が形成されていたと考えられる。



調査区全景 石橋遺跡第 12 地点 (東から)



IV
埋蔵文化財調査等

- SB: 掘立柱建物跡
- SI: 竪穴建物跡
- SK: 土坑
- SC: 焼土遺構

遺構配置図 石橋遺跡第 12 地点



竪穴建物跡 (SI21)



竪穴建物跡 炭化材検出状況 (SI27)

②松ヶ崎遺跡第 11 地点 (p25-No.38)

調査地：八戸市大字十日市字長根 13-1

担当職員：宇庭 瑞穂・小笠原 善範

調査概要：

ア．遺跡の概要

八戸市中心部から南東へ約 4km に位置する。遺跡は新井田川と支流の松館川に挟まれた標高 27 ～ 45m の台地上に立地する。

平成 31 年度までに八戸市教育委員会による 19 地点の調査と、青森県教育委員会による 4 地点の発掘調査が行われ、市内最大規模の縄文時代前期から中期の集落跡と判明している。

イ．調査に至る経緯

調査対象地は遺跡中央部に位置し、西から東へ下る緩傾斜地に立地し、現況は荒蕪地である。長芋作付けに伴い、平成 30 年 6 月 5 日付で文化財保護法第 93 条第 1 項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。本地点西側は平成 13 年度に試掘調査が行われ、遺構が複数重複することが確認されている。未調査の東側を平成 30 年 6 月 14 日から 7 月 4 日に試掘調査を行ったところ、遺構密度が希薄であることを確認した。これを受け、届出者と協議したところ、開発範囲約 8,622㎡を 6 区画に分割し本発掘調査を実施することで合意した。令和 2 年度の調査期間は令和 2 年 10 月 12 日から 11 月 12 日、調査面積は約 1,003㎡である。

ウ．検出遺構

【縄文時代】 竪穴建物跡 2 棟、掘立柱建物跡 1 棟、土坑 6 基 (フラスコ状土坑 5 基)

【古 代】 竪穴建物跡 2 棟

【不 明】 土坑 12 基、配石遺構 1 基

エ．出土遺物

【縄文時代】 縄文土器、石器、石製品

【古 代】 土師器、鉄製品

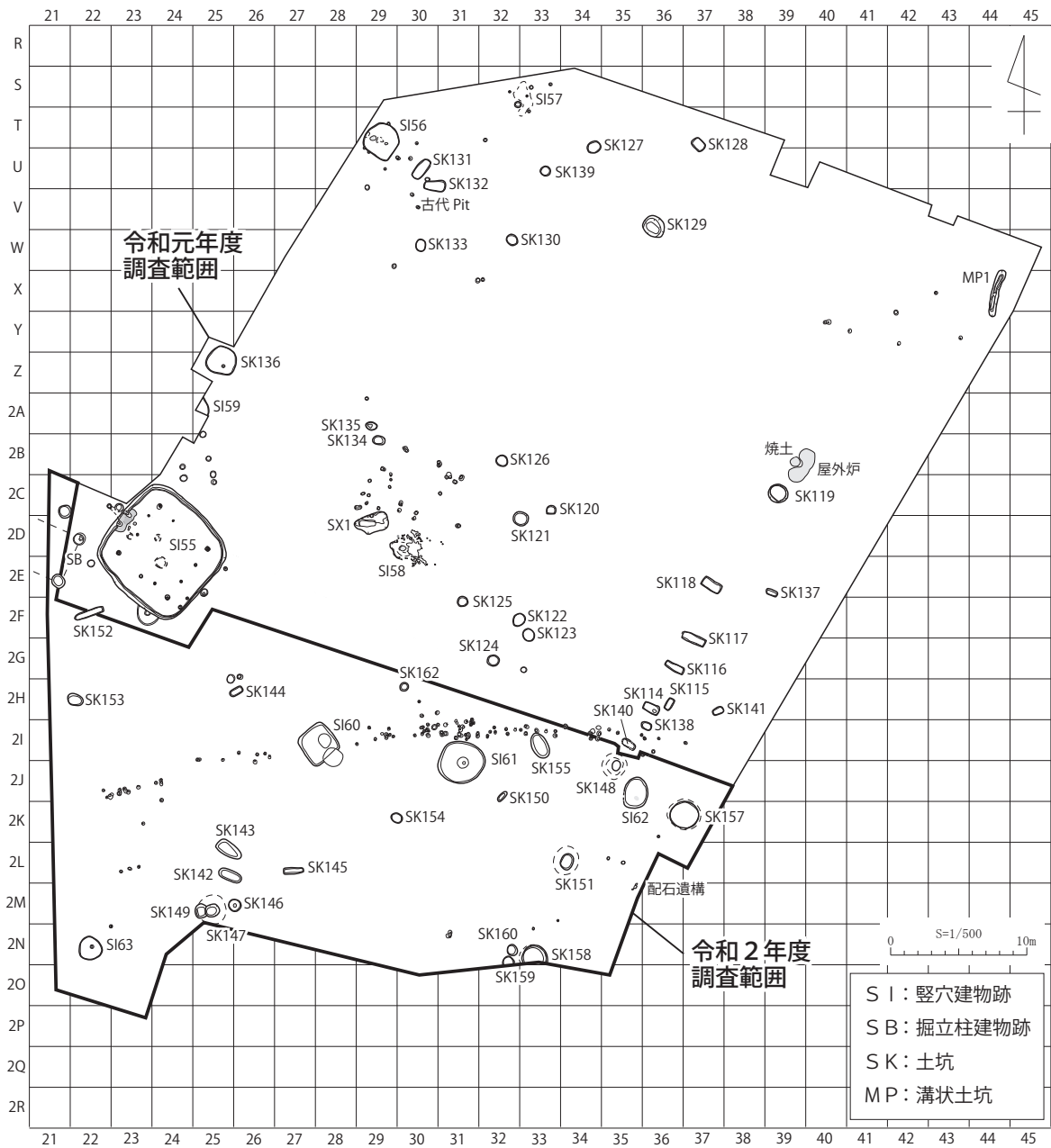
オ．調査成果

調査区東から南側の範囲でフラスコ状土坑が多数検出された。この周辺では縄文時代中期後葉の竪穴建物跡 (SI62・63) が検出されていることから、フラスコ状土坑はこの時期の集落に伴うものと考えられる。

これまでの調査成果を併せると、令和元・2 年度調査区は縄文時代中期の集落の周縁部に該当すると考えられる。また、古代の遺構が散発的に検出されており、その周辺でピット列が検出されている。



調査区遠景 松ヶ崎遺跡第 11 地点 (北から)



遺構配置図 松ヶ崎遺跡第 11 地点



フラスコ状土坑堆積状況 (SK156)



竪穴建物跡 土器埋設炉検出状況 (SI63)

③田面木遺跡第 54 地点 (p25-No.35)

調査地：八戸市大字田面木字外久保 10-8、10-40

担当職員：苧坪 祐樹

調査概要：

ア. 遺跡の概要

八戸市庁から南西に約 3.8km に所在し、馬淵川右岸の標高 24～50 m の丘陵に立地する。これまでの調査により縄文時代から古代までの遺構・遺物が多数検出され、特に古代においては飛鳥・奈良・平安時代の各時期に集落が営まれていることがわかってきている。

イ. 調査に至る経過

調査地点は遺跡の中心部からやや北西寄り、南西から北東へ下る緩斜面の中腹にあたる標高 36m 前後に位置する。

個人住宅建築にともない、令和 2 年 6 月 30 日付で文化財保護法第 93 条第 1 項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。届出地は過年度にほかの案件で届出、試掘調査が既に実施され、遺構・遺物が確認されていたことから、本開発工事に先立って本発掘調査を行うこととなった。

ウ. 検出遺構

【古代】掘立柱建物跡 1 棟、竪穴建物跡 3 棟、土坑 1 基

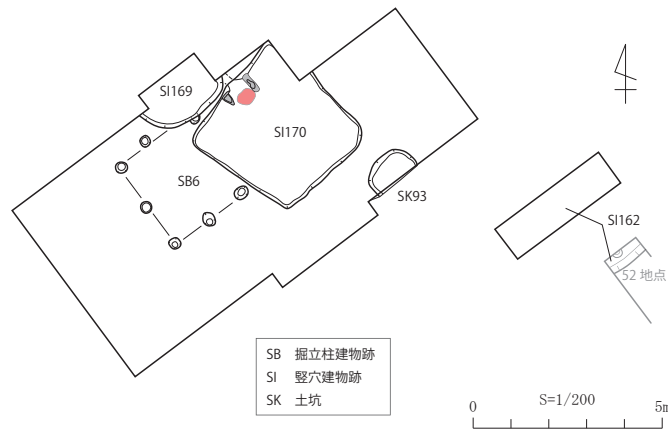
エ. 出土遺物

【古代】土師器、須恵器、石製品（紡錘車・砥石）、鉄製品（鉄釘など）、鉄滓

オ. 調査成果

調査地点とその周辺は、調査面積 200㎡ 足らずで古代の竪穴建物跡が 10 棟検出されており、田面木遺跡の中でも遺構密度が高い場所である。今回検出した遺構をはじめ、それらの竪穴建物跡は出土遺物の傾向から平安時代の集落を形成していた可能性が高い。

出土遺物の中では、石製紡錘車は八戸市周辺では事例が少ないもので、これまでは 3 点出土しており、そのいずれも飛鳥・奈良時代のものであった。そのため、今回の出土品は平安時代に伝世したものである可能性が高く、希少な事例となった。また、調査地点隣地の 53 地点からは東濃窯産（岐阜県）の緑釉陶器（10 世期初頭）が出土しており、本地点周辺は今後もその関連資料の出土に期待が高まる。



遺構配置図 田面木遺跡第 54 地点



カマドをもつ竪穴建物跡 (SI170)



石製紡錘車 (SI170 出土)

④八戸城跡第 44 地点 (p25-No.32)

調査地：八戸市内丸三丁目 5-16・5-91

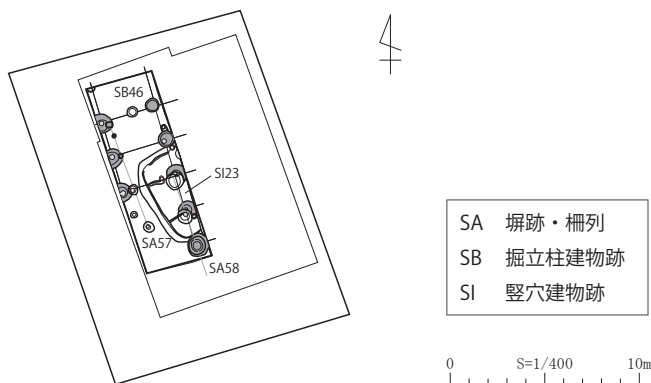
担当職員：宇庭 瑞穂

調査概要：

ア. 遺跡の概要

馬淵川右岸に突き出た標高約 20m の段丘北縁に立地し、遺跡の北側がその段丘崖となっている。

遺跡名は近世八戸藩における城郭（藩主御殿・藩庁が置かれた本丸、藩主一族や重臣の屋敷地であった二の丸および外郭の一部）であることに由来するが、これまでの発掘調査により縄文時代・弥生時代・奈良時代・平安時代・近世の遺構・遺物、古墳時代・中世の遺物が確認されており、市内でも有数の複合遺跡であることがわかっている。



八戸城跡第 44 地点 遺構配置図

イ. 調査に至る経過

調査地点は遺跡中心部から東寄り、北東に下る緩斜面の中腹にあたる標高 15m 前後に位置する。

個人住宅建築に伴い、令和 2 年 2 月 25 日付で文化財保護法第 93 条第 1 項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。これを受けて令和 2 年 3 月 11 日に試掘調査を実施したところ、敷地の一部で遺構が確認されたことから、部分的な本発掘調査を行うこととなった。



根石をもつ柱穴 (SB46) 八戸城跡第 44 地点

ウ. 検出遺構

【古代：奈良】 竪穴建物跡 1 棟

【近 世】 塀跡・柵列 2 条

掘立柱建物跡 1 棟

エ. 出土遺物

【古代：奈良】 土師器

【近 世】 陶器、磁器、土製品（焜炉）、
鉄製品（鉄釘等）、
金属製品（煙管）など

オ. 調査成果

調査地点は近世絵図によれば、八戸藩において代々家老職などの要職を勤めた「中里家」の屋敷地であった時期が確認できる。

根石が敷かれた柱穴から構成される掘立柱建物や色絵陶器といった出土遺物は、八戸市内では比較的少ない事例であり、これらは「中里家」屋敷地の痕跡である可能性が高い。

⑤八戸城跡第 49 地点 (p25-No.14)

調査地：八戸市内丸三丁目 22-3

担当職員：山田 貴博

検出遺構：水利施設跡

出土遺物：鉄製品（鉄釘）、木製品（杭か）など

調査概要：検出した水利施設跡は、ローム主体の掘方と黒褐色土主体の箱型断面を呈し、埋没していることを確認した。この黒褐色土主体の堆積土底面からは多くの鉄釘や木杭とみられる遺物が出土しており、箱型の木樋が存在した痕跡であると考えられる。



木樋痕跡 (箱型) をもつ水利施設跡 八戸城跡第 49 地点

⑥八戸城跡第 50 地点 (p25-No.37)

調査地：八戸市内丸三丁目 5-123

担当職員：山田 貴博

調査概要：

ア．遺跡の概要

八戸城跡第 44 地点 (p33) に同じ。

イ．調査に至る経緯

調査地点は遺跡中心部から東寄り、北東に下る緩斜面の中腹にあたる標高 15～16m 前後に位置する。

個人住宅建築に伴い、令和 2 年 8 月 17 日付で文化財保護法第 93 条第 1 項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。これを受けて令和 2 年 9 月 8 日から 10 日に試掘調査を実施したところ、遺構が確認されたことから、事前の本発掘調査を行うこととなった。

ウ．検出遺構

【古代】 竪穴建物跡 1 棟、土坑 1 基

【近世】 柵列・柱列跡 1 基、土坑 3 基、性格不明遺構 1 箇所

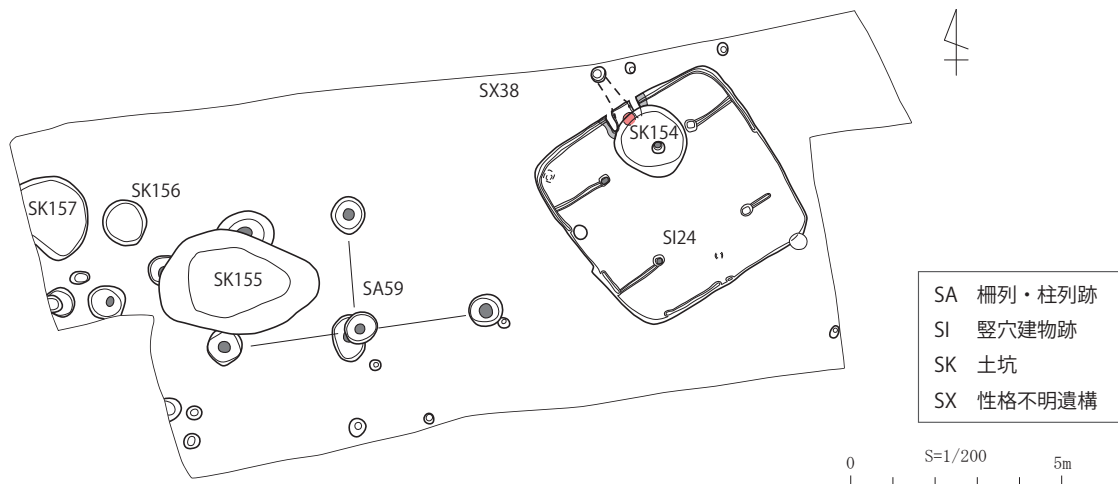
エ．出土遺物

【古代】 土師器、石器・石製品 (砥石など)

【近世】 陶器、磁器、鉄製品 (鉄釘など)、金属製品 (灰押など銅製品多数)、ガラス製品 (かんざし)、銭貨、動物遺存体 (シカ骨、貝)

オ．調査成果

近世の廃棄土坑とみられる SK155 からは、18 世後半から 19 世紀前半の陶器・磁器とともに、鉄釘、金属製品、銭貨等多量の遺物が出土した。その中でも、銅製品では香道具の灰押やガラス製かんざしといった風雅な生活を示す遺物が注目される。調査地点は同遺跡第 44 地点と同様、「中里家」の屋敷地に含まれる位置にあるため、その痕跡を示す遺物と考えられる。



八戸城跡第 50 地点 遺構配置図



灰押：香道具 八戸城跡第 50 地点



不明銅製品 八戸城跡第 50 地点



ガラス製かんざし 八戸城跡第 50 地点

3. 発掘調査報告書

令和 2 年度には、発掘調査の成果を埋蔵文化財調査報告書として計 3 冊を刊行した。

	書名	シリーズ名	シリーズ番号	編著者	発行年月日
1	八戸市内遺跡発掘調査報告書 42	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第 176 集	渡則子・苧坪祐樹・ 上ノ山拓己・宇庭瑞穂・ 山田貴博	令和 3 (2021) 年 3 月 26 日
	所収遺跡名：市子林遺跡第 24 地点、法霊林遺跡第 8 地点、松ヶ崎遺跡第 20 地点、雷遺跡第 11・12 地点、 田面木遺跡第 54・57 地点、新井田古館遺跡第 32 地点、八戸城跡第 44・48・49・50・51 地点				
2	八戸市内遺跡発掘調査報告書 43 史跡是川石器時代遺跡 一王寺遺跡史跡内容確認調査 概要報告書	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第 177 集	宇庭瑞穂	令和 3 (2021) 年 3 月 26 日
	所収遺跡名：一王寺遺跡				
3	八戸市内遺跡発掘調査報告書 44 鹿島沢古墳	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第 178 集	船場昌子・小保内裕之・ 宇部則保・菊池芳朗 (八戸市博物館編集)	令和 3 (2021) 年 3 月 26 日
	所収遺跡名：鹿島沢古墳				

4. 情報公開

(1) 令和 2 年度遺跡調査報告会

令和 2 年度に実施した発掘調査の主な成果を報告した。本年度は、調査報告会（1 階体験交流室）の聴講者を事前申込による先着 40 名と限定した一方で、例年は当日のみの実施である出土品展示（2 階研修室）を、本年度定めた「是川縄文の日」の 11 月 3 日（火・祝）より実施し、市民への情報公開の機会とした。

また、報告会の内容についてまとめた資料を作成し聴講者に配布したほか、ホームページでの公開も行った。



出土品展示会場のように

開催日時：11 月 14 日（土）14：00～15：30

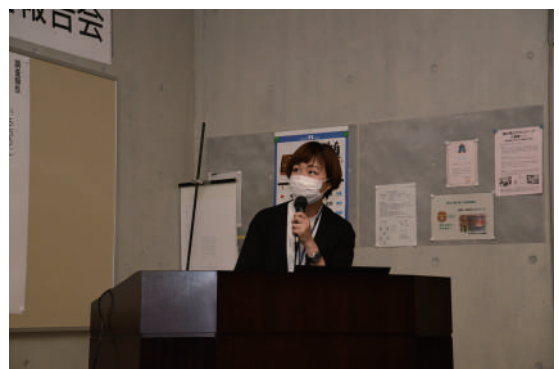
報告内容：

【報告遺跡】 14：00～15：30

- ・一王寺遺跡（是川地区）縄文時代
- ・石橋遺跡（新井田地区）平安時代
- ・八戸北インター第 2 工業団地予定地（上長地区・下長地区）縄文・古代

【主な展示】 13：00～16：30

- ・一王寺遺跡の縄文土器・弥生土器等
- ・石橋遺跡の土師器・須恵器・鉄製品等
- ・八戸北インター第 2 工業団地予定地の縄文土器・土師器



調査報告のように

(2) 現地公開・現地説明会・発掘体験

令和 2 年度に内容確認調査を行った一王寺遺跡で、発掘体験を行った。

開催日時：9 月 19 日（土）14：00～15：30

参加者数：15 名



是川一王寺遺跡発掘体験のようす

5. 是川遺跡美術工芸品保存修理事業

事業計画 平成 24 年度～令和 3 年度に、是川遺跡出土品の保存修理及び保存台製作を実施する予定である。

期 間 令和 2 年 6 月 29 日～継続中

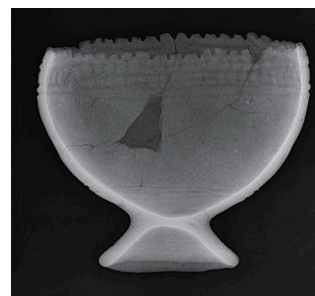
概 要 平成 23 年に是川遺跡出土品 330 点が重要文化財に追加指定された。この指定品には多数の木製品や漆製品が含まれており、発掘調査後に保存処理を実施しているが、欠損部分や脆弱な部分が認められる。土器・石器等には石膏の充填、接合部の剥離等が認められる。資料の劣化を抑制するとともに、本来の状態を復元し広く公開活用にするため、保存修理を実施する。また、広く周知するため、事業内容を紹介するリーフレットを作成・配布する。

なお、本事業では八戸市博物館所蔵の丹後平古墳群出土品の保存修理（博物館担当）も実施している。

内 容 台付土器 2 点、繊維製品 4 点、漆製品 9 点、玉類 21 点、計 36 点の保存修理を実施している。

受 託 者 株式会社芸匠（東京都）

事業費 10,392 千円（50% 国庫補助。丹後平古墳群出土品にかかる費用を含む。）



修理前 X 線写真



台付土器修理後

是川遺跡出土品 保存修理状況

6. 八戸市内遺跡出土鉄製品保存処理

事業計画 過去に八戸市内の遺跡から出土した鉄製品の保存処理を実施する予定である。

期 間 令和 2 年 6 月 29 日～継続中

内 容 鉄製品計 9 点の保存処理を実施している。

受 託 者 株式会社芸匠（東京都）

事業費 979 千円（50% 国庫補助）

7. 埋蔵文化財活用活性化事業

事業計画 平成 25 年から 30 年度まで国庫補助事業で行った出土品の収蔵整理及びデータベース化を、平成 31・令和元年度より市単独事業で継続している事業の 2 年目である。

期 間 令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

概 要 収蔵資料の体系化を目的とし、収蔵品のデータベース化及び再整理・再収納を実施した。

事業費 4,332 千円

内 容 一王寺遺跡 525 点はじめ、計 3,573 点の出土品のデータベース化、再整理・再収納を行った。

V 史跡整備

1. 史跡是川石器時代遺跡第 1 期整備事業

是川石器時代遺跡の発掘調査及び研究の成果を基に、八戸の縄文文化の魅力を伝え、生涯学習・観光・まちづくりの拠点や憩いの場として「是川縄文の里」を整備する事業。

平成 27 年度に「史跡是川石器時代遺跡保存活用計画」を策定し、平成 29 年度には、是川石器時代遺跡を構成する 3 遺跡の内、内容確認が最も進んでいる中居遺跡を第 1 期とした「史跡是川石器時代遺跡第 1 期整備基本計画」を策定した。平成 30 年度には、第 1 期整備にともなう整備対象箇所の地形測量と基本設計を実施している。令和元年度からは、第 1 期整備基本計画に基づいて、史跡内に既存する建物の解体撤去工事と、撤去箇所における史跡の現状確認や保護盛土のための表土厚確認等を目的とした発掘調査を進めている。

令和 2 年度は既存施設の内、是川考古館（昭和 38 年築、床面積 118.5㎡、地上 2 階建て）の解体撤去に着手した。工事は、文化財保護法第 125 条第 1 項の規定に基づく史跡の現状変更の申請を行い、国からの許可を得るとともに、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産としての遺産影響評価を検討したうえで行った。なお、解体撤去工事は当館職員立会いのもと慎重に進め、史跡のき損防止に努めた。建物の撤去後には、発掘調査を行い、史跡整備に必要な情報の収集に努めた。調査終了後は山砂で養生して埋め戻しを行い、保護措置を行って終了した。

令和 3 年度からは、歴史民俗資料館の解体撤去工事と発掘調査を進める予定である。



是川考古館



建物の解体



基礎の解体



基礎解体後に行った発掘調査の状況



是川考古館撤去後

2. 史跡維持管理

史跡是川石器時代遺跡の環境保全・景観管理のため、館の繁忙期や行事による来館者の往来、草の繁茂状況を鑑みて4月から10月にかけて除草を実施した。

①ヤギ除草（堀田遺跡・中居遺跡地内）

面積 約 13,700㎡
期間 4月17日～10月31日
受託者 八戸市森林組合
事業費 1,155千円

②除草（分館敷地・是川遺跡記念碑）

面積 約 15,800㎡
期間 5月1日～9月30日
受託者 株式会社根城グリーン建設
事業費 2,970千円

③除草（一王寺遺跡地内）

面積 約 67,500㎡
期間 5月28日～9月30日
受託者 株式会社昴造園建設
事業費 2,057千円



除草するヤギ

3. 一王寺遺跡内容確認調査

調査地：八戸市大字是川字一王寺 2-3・2-6・8-1

担当職員：宇庭 瑞穂・小笠原 善範・小久保 拓也

検出遺構：竪穴建物跡 24 棟、土坑 21 基（フラスコ状土坑 1 基）、屋外炉 1 基、配石遺構 2 基、溝跡 3 条、性格不明遺構 9 基、埋設土器、捨て場、ピット

出土遺物：縄文土器（前期後葉～後期中葉）、弥生土器、土師器、土製品、石器、石製品、動物遺存体

調査概要：

是川石器時代遺跡は一王寺遺跡・中居遺跡・堀田遺跡の3遺跡で構成される。この内、一王寺遺跡は北日本の縄文時代前期・中期を代表する円筒土器の標式遺跡である。

史跡是川石器時代遺跡第1期整備計画に基づき、令和元年度から一王寺遺跡の内容確認調査を6カ年計画で実施している。本年度はその2年目である。

今回の調査では、縄文時代前期後葉から後期前葉までの遺構を検出した。遺構の検出状況から、前期の遺構は北側へ、中期の遺構は西側を含めた広範囲に、後期の遺構は西側を中心とした広範囲に分布すると考えられる。調査区南から西側にかけて、後期初頭以降の溝跡や後期初頭から前葉の配石遺構を確認した。遺物も前期前葉から後期中葉まで出土しており、本遺跡では少なくとも縄文時代前期中葉から後期中葉までの長期間、集落が継続したことを確認した。



215 トレンチ SD1～3 溝跡検出状況（東から）

VI 管理運営概要

1. 協議会等

(1) 令和2年度是川縄文館運営協議会

期日 【第1回】令和2年10月6日(火) 13:30～
【第2回】令和3年2月23日(火)～
3月9日(火) ※第2回は書面協議

会場 是川縄文館 2F 研修室 (第1回)

委員 岡村 道雄(会長) 石川 宏之(副会長) 高田 和徳
福田 友之 山下 治子 川口 桂子 鈴木 規夫

概要 是川縄文館の運営や事業について、文化財・教育普及・博物館経営・広報等の専門的見地から評価・助言を得るための協議会。各回とも岡村会長による議事進行で協議が行われた。第1回では、令和元年度事業報告とアンケート集計結果に関する質疑があったほか、世界遺産登録に向けた地域連携について意見があった。第2回は新型コロナウイルス感染症対策のため書面協議となり、令和3年度事業計画を基に意見を求め、特に開館10周年記念行事をはじめ、特別展・企画展の内容等について意見・助言があった。



運営協議会

(2) 史跡是川石器時代遺跡整備検討委員会

期日 【第8回】令和2年9月25日(木) 14:00～
【第9回】令和3年2月23日(火)～
3月9日(火) ※第9回は書面協議

会場 是川縄文館 2F 研修室

委員 岡村 道雄(会長) 高田 和徳(副会長)
辻 誠一郎 馬場 光久

※オブザーバー：青森県文化財保護課

概要 史跡是川石器時代遺跡の整備事業について、基本方針、計画、内容等を定めることを目的に有識者による検討を行う委員会。第8回・第9回とも令和元年度の事業報告及び令和2年・3年度の事業案をもとに会議・検討が進行した。第8回では特に第1期整備における中居遺跡の墓域の復元方針について議論があったほか、第9回は書面協議となったが、既存施設撤去後の調査における基本層序の捉え方や、整備事業にともなう普及啓発について意見があった。



第8回整備検討委員会

(3) 令和2年度是川縄文館懇談会

期日 令和3年2月16日(火) 13:30～

会場 是川縄文館 2F 研修室

出席者 中居町内会 田中町内会 風張町内会
是川地区振興会 是川団地町内連合会
八戸縄文保存協会 是川文化財愛護会
縄文是川ボランティア 是川縄文館職員

概要 是川縄文館の近隣町内組織及び支援団体から、館の運営について助言・連携等を得るための会合。令和2年度の事業報告、令和3年度事業計画等の説明を基に連携の進め方について協議した。出席者からは、整備の計画についての意見が出された。



懇談会のようす

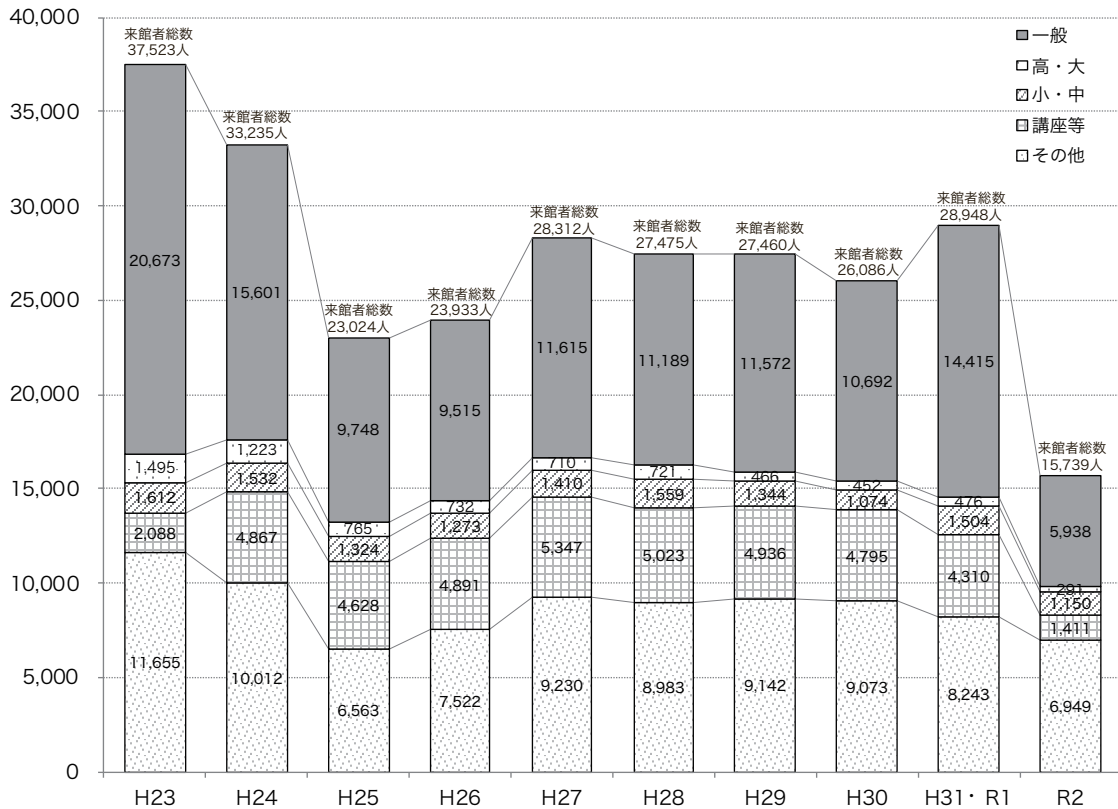
2. 日記抄

月/日	事項		
4/8	取材：東奥日報社 (1 人)	8/27	見学・滑石の勾玉作り：三八学友会 (7 人)
4/14	視察：八戸市観光課 (7 人)		見学・土器作り：八戸市立是川小学校 5 年生 (19 人)
4/17	見学：VISIT はちのへ (1 人)		見学：八戸市長 (2 人)
5/16	見学：個人 (3 人)	8/28	見学・土器作り：八戸市立是川小学校 3 年生 (31 人)
6/4	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)	8/29	企画展ギャラリートーク (9 人)
6/6	サポートスタッフ研修会① (19 人) 講師：当館学芸員		見学：八戸縄文保存協会 (1 人)
6/12	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)		企画展考古学講座 (64 人)
6/13	サポートスタッフ研修会② (22 人) 講師：当館学芸員	8/31	見学・土器作り：八戸市立是川小学校 4 年生 (30 人)
6/14	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)		見学：八戸縄文保存協会 (2 人)
6/19	取材：日経 BP コンサルティング「はれ予報」(2 人)	9/1	見学：八戸縄文保存協会 (3 人)
6/26	取材：弘前大学 (2 人) / 青森県立八戸東高等学校放送部 (3 人)	9/2	見学・土製ペンダント作り：八戸市立是川小学校 1 年生 (38 人)
6/27	取材：JR 東日本企画盛岡支店 (4 人)	9/3	見学・滑石の勾玉作り：八戸市立三条小学校 6 年生 (61 人)
	見学：ちぐさワールド (5 人) / 八戸縄文保存協会 (4 人)		見学：八戸市立新井田小学校 4 年生 (109 人)
	サポートスタッフ研修会③ (24 人) 講師：当館学芸員		取材：株式会社 ビーエフエム (1 人)
6/30	見学：(株) ワールド航空サービス (14 人)		視察：青森県誘客交流課 (4 人) / VISIT はちのへ (24 人)
7/1	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)	9/5	見学：個人 (2 人) / 個人 (4 人) / 八戸縄文保存協会 (1 人)
	取材：青森県観光企画課 (4 人)		縄文の布を編む講座 (16 人)
7/2	取材：東奥日報 (1 人)	9/6	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)
7/3	見学：三八五流通 (4 人)	9/7	体験：八戸市立是川小学校 5 年生特別学級 (1 人) ※出前講座
	下見：(株) 近畿日本ツーリスト東北 青森支店 (2 人)		見学：個人 (1 人)
7/4	見学：個人 (3 人)		視察：青森県文化財保護課 (5 人)
	合掌土偶作り教室 (19 人)	9/8	見学・火起こし：青森県立八戸第二養護学校 6 学年 (7 人) /
7/5	下見：八戸市立島守小学校 (1 人)		みどり幼稚園 (27 人)
	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)	9/10	土偶頭作り：八戸市立是川小学校 (35 人)
7/7	火起こし・見学：八戸市立島守小学校 (5 人)	9/11	見学・滑石の勾玉作り：八戸市立鮫小学校 5 学年 (52 人)
7/8	見学：八戸市立中居林小学校 (58 人)・八戸工業大学第一高等学校 (25 人)		見学：弘前大学 (22 人)
7/10	火起こし・土製ペンダント作り・講話：令和 2 年度初任者研修 (47 人)	9/12	これかわ考古学クラブ (3 人)
	講師：当館館長		見学・滑石の勾玉作り：「はちのへ Local 旅」(4 人)
7/11	体験：青森県立八戸商業高等学校 3 年生 (6 人)	9/13	見学：(株) 和田砂利商会 (4 人) / ポストタクシー (1 人)
7/12	見学：(株) 西遊旅行 (4 人)	9/15	見学・滑石の勾玉作り：階上町立大蛇小学校 (14 人)
7/14	見学：五戸町立倉石小学校 6 年生 (24 人)	9/16	視察：千歳市埋蔵文化センター (2 人)
	取材：聖教新聞 青森支局 (2 人)	9/18	見学：むつ市立川内小学校 6 年生 (25 人)
7/15	見学：個人 (2 人)	9/19	教室角でペンダント作り教室 (18 人)
7/16	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)		これかわ考古学クラブ (7 人)
7/17	企画展内覧会：報道機関 (2 人)・ボランティア (20 人)		一王寺遺跡発掘体験 (一般) (7 人)
	見学・滑石の勾玉作り体験：階上町立石鉢小学校 5 年生 (42 人)	9/20	見学：個人 (6 人)
	階上町立石鉢小学校 6 年生 (40 人)		取材：青森県観光企画課 (4 人)
7/18	企画展ギャラリートーク (9 人)	9/22	見学：ワールド航空サービス (17 人) / (株) 西遊旅行 (7 人)
7/19	取材：ふるさと通信 (3 人)	9/25	見学・体験：八戸市立種差小学校 (22 人)
7/20	世界遺産登録現地審査直前リハーサル (26 人)		見学：筑波大学大学院 (22 人) / 横浜町立横浜小学校 (35 人)
7/21	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)		令和 2 年度第 8 回整備検討委員会 (7 人)
7/22	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)	9/27	見学：個人 (1 人)
7/23	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)	9/29	見学・滑石の勾玉作り：八戸市立明治中学校 1 学年 (25 人)
7/24	取材：河北新報社 八戸支局 (1 人)		見学 (一王寺遺跡)：縄文是川ボランティア (19 人)
7/25	これかわ考古学クラブ (7 人)		視察：千葉学園高等学校 生活文化科 (8 人)
	取材：朝日新聞 (1 人)	10/1	見学：弘前市立常盤野小学校 5・6 年生 (6 人) / 個人 (1 人) /
	企画展ギャラリートーク (7 人)		八戸市立東中学校 2 年生 (13 人) / (株) 寿広 (6 人) /
7/26	見学：八戸縄文保存協会 (2 人)		黒石市立黒石小学校 6 年生 (105 人)
7/28	合掌土偶作り：八戸市鷗盟大学 (4 人)		取材：RAB 青森放送八戸支社 (2 人)
	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)		撮影：ミカミスタジオ 黒石小学校撮影 (1 人)
7/29	取材：青森県観光企画課 (4 人)	10/2	見学：フラワー観光 (弘前市立桔梗野小学校 6 年生) (62 人) /
	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)		日本橋トラベラーズクラブ (8 人)
7/30	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)		見学・滑石の勾玉作り：八戸市立鮫中学校 (52 人)
7/31	青森県世界文化遺産登録推進室 (4 人)	10/3	見学：是川保育園 (17 人) / 個人 (1 人) / 個人 (1 人)
8/1	これかわ考古学クラブ (6 人)		体験：個人 (1 人) / 個人 (1 人)
	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)		これかわ考古学クラブ (4 人)
	企画展ギャラリートーク (2 人)	10/5	見学：個人 (2 人)
8/7	見学・研修 (食生活改善セミナー)：山田設備機工株式会社 (25 人)	10/6	見学・滑石の勾玉作り・火起こし：八戸市立市川中学校 (23 人)
	見学：八戸市立南浜中学校 (36 人)・個人 (1 人)		見学：個人 (1 人) / (有) 青木商店 (9 人)
8/8	見学：八戸縄文保存協会 (3 人)		令和 2 年度第 1 回八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 運営協議会 (9 人)
	企画展ギャラリートーク (5 人)	10/8	見学・火起こし：日赤横浜町分区 (16 人) /
8/10	取材：読売新聞 八戸支局 (1 人)		見学：東北町母子寡婦福祉会 (30 人) /
8/12	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)		五所川原市立いずみ小学校 6 学年 (27 人)
8/14	見学：個人 (2 人)	10/9	見学：ワールド航空サービス (19 人) / 個人 (4 人)
	取材：読売新聞 八戸支局 (1 人)		見学・滑石の勾玉作り：八戸市立多賀台小学校 (29 人)
8/15	取材：東奥日報社 八戸支局 (1 人)		視察：八戸市議会 (2 人)
	企画展ギャラリートーク (4 人)		取材：(株) 東北博報堂 青森支社 (7 人)
8/18	取材：NHK (3 人)		企画展メディア向け内覧会 (2 人)
8/19	取材：株式会社 八戸テレビ放送 (3 人)	10/10	企画展ギャラリートーク (3 人)
8/21	取材：株式会社ビーエフエム (1 人)		見学：八戸縄文保存協会 (2 人)
8/22	見学：個人 (1 人) / 花さき村 (8 人)		考古学講座① (48 人)
	株式会社日本橋トラベラーズクラブ (7 人)	10/13	見学・滑石の勾玉作り：青森県立八戸東高等学校 2 学年 (24 人)
	見学・体験：博物館実習 (6 人)		見学：(株) たびせん・つなぐ (16 人)
	企画展ギャラリートーク (16 人)		見学・火起こし：八戸市立白銀小学校 6 学年 (31 人)
8/23	実習：博物館実習 (6 人)	10/14	見学：八戸市立下長中学校 (157 人) / クラブツーリズム株式会社 (20 人)
	是川遺跡クリーンデー (9 人)		取材：ビーエフエム (1 人)
8/25	取材：JR 東日本 八戸駅 (3 人)	10/16	見学・火起こし：中泊町立中里小学校 (11 人)
8/26	見学・土偶作り：八戸市立是川小学校 2 年生 (19 人)		見学：TWH (3 人) / 個人 (1 人)
	取材：青森朝日新聞 八戸支社 (2 人)		

月/日	事項	月/日	事項
10/17	見学：アオモリスタディーツアー (22人) / おいらせ町交通安全協会 (11人) 縄文土器作り講座① (20人) 取材：東奥日報社 (1人) 企画展ギャラリートーク (8人)	12/20	取材：青森県観光企画課 (2人)
10/20	見学：三沢市立おおぞら小学校6学年 (17人)	12/22	見学：中居林こども園 (22人) / 八戸縄文保存協会 (1人)
10/22	見学・滑石の勾玉作り：八戸工業大学第二高等学校附属中学校 (41人)	12/23	見学：八戸縄文保存協会 (1人)
10/23	見学：八戸縄文保存協会 (4人) / 個人 (1人)	12/24	視察：教育委員会社会教育課 (11人)
10/24	縄文土器作り講座② (18人) 見学：個人 (37人) / (株)シービーツアーズ (19人) 企画展ギャラリートーク (10人)	12/26	見学：寺澤タクシー (3人)
10/25	見学：個人 (3人)	1/6	取材：(株)八戸テレビ放送 (2人)
10/27	見学：あけぼの学園 (20人)	1/9	縄文土器の拓本作り教室 (7人)
10/28	見学：新むつ小川原 (株) (5人)	1/10	見学：八戸縄文保存協会 (1人)
10/29	見学：新郷村立西越小学校6学年 (5人) / 三本木さくらの会 (22人) / (株)日本ツアーサービス (1人) 見学・滑石の勾玉作り：むつ市立大畑中学校 (52人)	1/14	取材：岩手県北自動車株式会社 (4人) / 八戸市観光課 (7人) 見学：八戸縄文保存協会 (1人)
10/30	見学：(株)バイシャントラベル (12人) / 東武トップツアーズ (株) (3人) 青森市立大野小学校6学年 (96人) / フォトスタジオメモリー (1人) 取材：(有)ステアリング (3人)	1/15	見学・火起こし：株式会社 ケーピア (2人)
10/31	土器☆土器☆クッキー作り教室・見学 (16人) 是川遺跡クリーンデー (27人) 企画展ギャラリートーク (11人) 見学：八戸縄文保存協会 (1人) 視察：北本市教育委員会文化財保護課 (4人)	1/20	取材：NHK 青森 (1人)
11/1	はちのへ縄文フェス 見学：近畿日本ツーリスト東北 (20人)	1/23	サポートスタッフ研修会① (23人)
11/2	見学・滑石の勾玉作り：八戸市立城下小学校6学年 (40人)	1/26	見学・滑石の勾玉作り：八戸市立下長小学校6学年 (51人)
11/3	是川縄文の日 (619人) 取材：東奥日報 / 青森テレビ / 青森放送 見学：個人 (1人)	1/27	取材：NHK (3人) 視察：青森県議会 (2人)
11/5	見学：津軽の木で家をたてる会 (11人) / 八戸縄文保存協会 (1人) クラブツーリズム (20人)	1/28	見学・火起こし・滑石の勾玉作り：階上町立小舟渡小学校 (10人) 取材：青森朝日放送株式会社 (2人) 見学：八戸縄文保存協会 (1人) 取材：東奥日報社 視察：八戸ポータルミュージアム (3人)
11/6	見学・滑石の勾玉作り：田子町立田子小学校6学年 (32人)	1/30	見学：ちぐさワールド (5人) 取材：読売新聞八戸支局 (1人) サポートスタッフ研修会② (16人)
11/7	企画展ギャラリートーク (7人) 企画展考古学講座 (49人) 取材：(株)協同 (8人)	1/31	見学：八戸縄文保存協会 (1人)
11/10	見学・滑石の勾玉作り：八戸市立江陽小学校6年生 (38人) 見学：クラブツーリズム (19人) 取材：(株)ターミナル (8人)	2/6	これかわ考古学クラブ修了式 (6人) 取材：NHK 青森 (1人) / 読売新聞八戸支局 (1人) 見学：ちぐさワールド (5名) サポートスタッフ研修会③ (24人)
11/11	見学：デリー東北 (1人)	2/7	第5回は川縄文の里 俳句大会表彰式 (13人) 取材：デリー東北新聞社 (1人) / 東奥日報社 (1人)
11/12	見学：観光タクシー (1人) / 八戸縄文保存協会 (1人) 取材：テレコムスタッフ (3人)	2/13	見学：八戸縄文保存協会 (1人)
11/14	企画展ギャラリートーク (2人) 令和2年度八戸市遺跡調査報告会 (38人) 取材：東奥日報 (1人) / デリー東北 (1人)	2/18	見学：八戸縄文保存協会 (1人)
11/17	見学・滑石の勾玉作り：階上町立道仏小学校5・6学年 (15人) 八戸市立柏崎小学校6学年 (95人)	2/20	サポートスタッフ研修会④ (21人)
11/19	見学：(株)日本ツアーサービス (52人)	2/23	取材：青森テレビ (2人)
11/21	ドンぐりで縄文 cooking (18人) 見学：八戸工業大学 (5人) / 八戸工業大学第二高等学校 (5人) 取材・火起こし：青森県世界文化遺産登録推進室 (10人) 企画展ギャラリートーク (9人)	2/26	見学：八戸縄文保存協会 (1人) / 個人 (2人)
11/22	見学：個人 (2人) / 小金井史会談 (6人)	2/27	サポートスタッフ研修会⑤ (26人)
11/26	見学：八戸市根城中学校1学年 (47人) 見学・滑石の勾玉作り：平内町立小湊小学校6学年 (48人) おいらせ町立下田小学校6学年 (26人)	2/28	見学・昼食：八戸市鶴盟大学43期生 (17人)
11/27	見学・滑石の勾玉作り：五戸町立切谷内小学校6学年・上市川小学校 6学年合同見学 (28人) 職場訪問：八戸市立三条中学校2学年 (7人)	3/2	見学：青森ニキレス株式会社 (2人)
11/28	考古学講座② (37人) 見学：八戸縄文保存協会 (1人)	3/6	縄文土器作り教室 (17人) 見学：青森 Michinoku 通訳ガイドの会 (7人)
12/4	見学：八戸山友会ウォーククラブ (16人)	3/10	見学：青森 Michinoku 通訳ガイドの会 (7人) 取材：青森放送局 (2人)
12/5	これかわ考古学クラブ④ (5人) 取材：川口印刷工業株式会社 (4人)	3/13	見学：八戸縄文保存協会 (2人) 考古学講座⑥ (43人)
12/9	取材：サンクラッソ atv (2人)	3/16	取材：青森県リモート観光サービス おおもりもーとツーリズム (3人)
12/10	見学：青森県立八戸第二養護学校小学6学年 (12人)	3/17	取材：青森県リモート観光サービス (3人) 下見：JR 東日本盛岡支社 八戸駅 (1人)
12/11	青森市立泉川小学校6学年 (133人)	3/18	視察：八戸市教育委員会 (4人)
12/12	取材：デリー東北新聞社 (1人) 見学：デリー東北新聞社 (8人)	3/20	考古学講座⑤ (36名)
12/13	見学：(株)三越伊勢丹ニッコウトラベル (10人) 取材：東奥日報社 (1人)	3/21	見学：個人 (2人)
12/15	見学・滑石の勾玉作り：八戸市立城北小学校6学年 (83人) 撮影：カメラのコーエン (城北小学校撮影) (2人) 取材：(株)ビーエフエム (1人)	3/26	視察：八戸市教育委員会 社会教育課 (9人)
12/16	取材：八戸市広報統計課 (6人)	3/27	縄文土器作り講座③ (19人)
12/17	取材：東奥日報社 (1人)	3/28	取材：個人 (1人) / 青森県観光企画課 (2人)
12/18	見学・滑石の勾玉作り：八戸市立南郷小学校6学年 (28人)		
12/19	見学：マリエントちぎゅうたんけんクラブ (20人) 考古学講座③ (34人)		

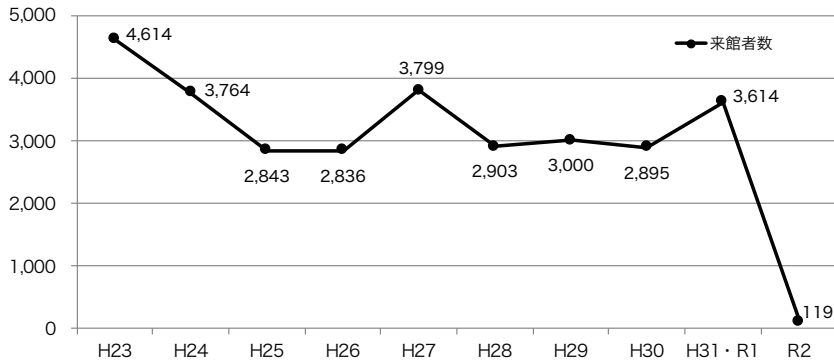
3. 来館者利用状況

月	個人				団体				減免入館者					有料 観覧者	全額免除 観覧者	講座等 入館者	本館総 入館者	開館 日数	平均 入館者	分館総 入館者	総計
	一般	大・高	小・中	計	一般	大・高	小・中	計	障がい	介護	高齢	優待	計								
4月	43	6	2	51	0	0	0	0	16	7	10	2	35	86	27	34	147	16	9	14	161
5月	108	1	6	115	0	0	0	0	3	2	9	3	17	132	28	28	188	18	10	25	213
6月	373	6	18	397	0	0	0	0	5	3	33	3	44	441	99	172	712	26	27	80	792
7月	648	22	29	699	0	23	95	118	13	11	40	3	67	884	313	306	1,503	30	50	0	1,503
8月	876	52	109	1,037	25	0	0	25	24	18	101	11	154	1,216	613	500	2,329	30	78	0	2,329
9月	733	30	51	814	22	21	51	94	9	11	64	24	108	1,016	626	368	2,010	27	74	0	2,010
10月	967	23	50	1,040	115	24	322	461	16	14	67	15	112	1,613	612	484	2,709	28	97	0	2,709
11月	848	13	51	912	0	0	162	162	13	7	63	21	104	1,178	1,194	599	2,971	25	119	0	2,971
12月	217	15	12	244	0	0	122	122	4	3	19	6	32	398	219	222	839	23	36	0	839
1月	156	8	21	185	0	0	0	0	7	3	18	5	33	218	133	149	500	24	21	0	500
2月	308	13	17	338	0	0	0	0	9	3	52	3	67	405	116	219	740	22	34	0	740
3月	499	34	32	565	0	0	0	0	11	5	46	21	83	648	108	335	1,091	26	42	0	1,091
計	5,776	223	398	6,397	162	68	752	982	130	87	522	117	856	8,235	4,088	3,416	15,739	295	53	119	15,858



本館における過去 10 年間の来館者数の推移

※新型コロナウイルス感染症対策のため令和 2 年 4 月 18 日～5 月 11 日は休館とした。



分館における過去 10 年間の来館者数の推移

※平成 30 年度より、12 月から 3 月にかけて分館の受付は本館に集約している。
 ※新型コロナウイルス感染症対策のため令和 2 年 4 月 18 日～5 月 11 日は休館とした。
 ※令和 2 年 7 月より第 1 期整備工事完了まで休館とした。

4. 小中学校利用状況

学校利用	1,978 人	市内	1,176 人 (小学校 16 校 816 人 中学校 8 校 360 人)	※詳細は下部表を参照
個人利用	767 人	市外	802 人	
		市内	413 人 (小学校 376 人 中学校 37 人)	
		市外	354 人	
総計			2,745 人	

入館日	学校名	内容	人数	入館日	学校名	内容	人数
7/7	島守小学校 6 学年	見学・体験	4	10/1	東中学校 2 学年	見学	13
7/8	中居林小学校 6 学年	見学	54	10/2	鮫中学校 1 学年	見学・体験	46
8/7	南浜中学校	見学	29	10/6	市川中学校 1 学年	見学・体験	22
8/26	是川小学校 2 学年	見学・体験	18	10/9	多賀台小学校 6 学年	見学・体験	27
8/27	是川小学校 5 学年	体験	17	10/13	白銀小学校 6 学年	見学・体験	30
8/28	是川小学校 3 学年	見学・体験	29	10/14	下長中学校 2 学年	見学	146
8/31	是川小学校 4 学年	体験	25	10/22	八戸工業大学第二高等学校附属中学校	見学・体験	37
9/2	是川小学校 1 学年	見学・体験	34	11/2	城下小学校 6 学年	見学・体験	38
9/3	三条小学校 6 学年	見学・体験	59	11/10	江陽小学校 6 学年	見学・体験	34
9/3	新井田小学校 4 学年	見学・体験	104	11/17	柏崎小学校 6 学年	見学・体験	89
9/8	八戸第二養護学校 小学部 6 学年	見学・体験	5	11/26	根城中学校 1 学年	見学	45
9/10	是川小学校 6 学年	体験	29	12/10	八戸第二養護学校 小学部 6 学年	見学・体験	8
9/11	鮫小学校 5 学年	見学・体験	47	12/15	城北小学校 6 学年	見学・体験	77
9/25	種差小学校 1, 2, 3, 4, 6 学年	見学・体験	17	12/18	南郷小学校 6 学年	見学・体験	23
9/29	明治中学校 1 学年	見学・体験	22	1/26	下長小学校 6 学年	見学・体験	48

○修学旅行利用状況

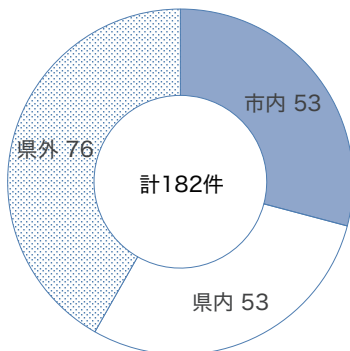
令和 2 年度は、以下の表のとおり修学旅行先として 12 校 596 人の利用があった。

入館日	学校名	内容	人数	入館日	学校名	内容	人数
9/18	むつ市立川内小学校 6 学年	見学	21	10/29	むつ市立大畑中学校 3 学年	見学・体験	46
9/25	横浜町立横浜小学校 6 学年	見学	30	10/30	青森市立大野小学校 6 学年	見学	88
10/1	黒石市立黒石小学校 6 学年	見学	96	11/19	大間町立大間小学校 6 学年	見学	45
10/2	弘前市立桔梗野小学校 6 学年	見学	54	11/26	平内町立小湊小学校 6 学年	見学・体験	40
10/8	五所川原市立いずみ小学校 6 学年	見学	22	11/26	おいらせ町立下田小学校 6 学年	見学・体験	23
10/16	中泊町立中里小学校 6 学年	見学・体験	9	12/11	青森市立泉川小学校 6 学年	見学	122

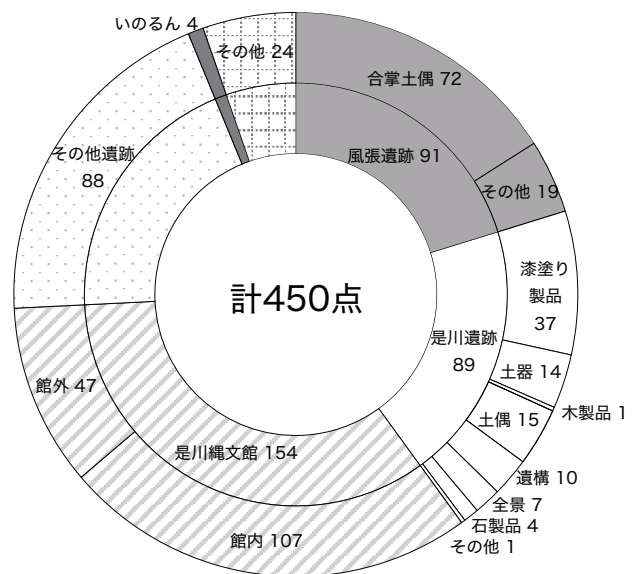
5. 資料利用状況

(1) 映像資料

令和 2 年度は、申請数 182 件、合計 450 点の利用申請があった。前年と比べ件数は減少したが、点数は増加した。今年度の申請者も昨年度に引き続き県外が最多となった。利用目的では、書籍等への掲載のほか、テレビ利用や個人の SNS への掲載等がある。



映像資料利用依頼先内訳



映像資料利用種別内訳

VI 管理運営概要等

八戸市埋蔵文化財センターは川縄文館 年報第 10 号

番号	申請者	資料名	点数	貸出メディア	許可日	掲載先
1	東奥日報社	是川縄文館企画展示室及び展示品	1	撮影	4/8	取材
2	株式会社協栄	是川石器時代遺跡 遺跡全景ほか	5	写真貸与	4/14	あおり紀行 夏・秋編
3	有限会社協栄堂	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶 斜位/正面	2	写真貸与	4/14	合冢土偶人形焼の掛紙及びしおり
4	国際教養大学	是川石器時代遺跡 遺跡全景ほか	14	写真貸与	4/17	学内向けオンライン講義ビデオ
5	株式会社 KADOKAWA	是川中居遺跡出土 土偶ほか	3	写真貸与	5/13	望月昭秀著「縄文人に相談だ。(角川文庫)」
6	十日町市博物館	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶	1	写真貸与	4/21	十日町市博物館の常設展示パネル
7	青森県統計協会	是川中居遺跡出土 木胎漆器	1	写真貸与	4/21	2021 年版青森県民手帳
8	株式会社 Z 会	是川中居遺跡出土 遮光器土偶ほか	2	写真貸与	4/25	通信教育教材
9	帝京大学文化財研究所	林ノ前遺跡出土 ウマ髹骨	1	写真掲載	5/13	論文
10	株式会社医学出版	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶	1	写真貸与	4/28	雑誌「美容皮膚医学 BEAUTY」
11	NPO 法人むきばんだ応援団	是川石器時代遺跡 遺跡全景ほか	6	写真貸与	5/6	WEB サイト【全国子ども考古学教室】
12	青森県観光国際戦略局観光企画課	是川石器時代遺跡 遺跡全景ほか	2	写真貸与	5/22	縄文遺跡等の周遊促進を目的としたグーグル・マイ・マップ
13	株式会社デーリー東北新聞社	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶	1	写真貸与	5/22	八食センター発行の八食センター館内パンフレット
14	社会福祉法人豊公会就労継続支援 B 型事業所ソーシャルファームエッグス	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶	1	写真貸与	5/29	就労継続支援 B 型事業所作業製品「黒にんにくクッキー」ラベル
15	NHK 大阪拠点放送局番組制作部	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶	1	写真掲載	5/28	歴史秘話ヒストリア「古代史 SP (仮)」
16	株式会社ジェイアール東日本企画仙台支店	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶	1	写真貸与	5/30	東北デザインেশョンキャンペーン WEB 用プロモーション動画
17	朝日新聞	これかフェ	1	写真撮影	5/22	朝日新聞
18	個人	松長根遺跡出土土器「八戸市内遺跡発掘調査報告書 38」(5~9 図)・32 点	32	写真掲載	5/30	「縄文/弥生移行期の新井田川・馬淵川流域における穀物利用」(『東日本における食糧生産の開始と展開 (仮)』所収)
19	株式会社ネクサス	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶	1	写真貸与	6/5	BS-TBS「にっぽん! 歴史鑑定」2019 年 11 月 4 日放送「古代史ミステリー ダムに眠る白神縄文人からのメッセージ」(再放送)
20	株式会社集英社	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶	1	写真貸与	6/16	集英社『学習まんが 日本の歴史 (ポータブル版) 1 巻』(仮)の「もくじ」及び「巻頭特集」
21	日経 BP コンサルティング	是川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影	6/19	「はれ子報」9 月号 (2020 年 8 月 20 日刊)「未来の世界遺産をゆく (仮)」特集
22	八戸市立川小中学校	八戸市埋蔵文化財センターは川縄文館マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与	6/23	運動会 T シャツ作製 (職員用)
23	市立南館博物館	是川中居遺跡出土 木胎漆器ほか	2	写真貸与	6/25	令和 2 年度市立南館博物館企画展図録「津軽海峡北側の縄文遺跡」
24	両館市縄文文化交流センター	風張 1 遺跡出土 卑土器	1	写真貸与	7/2	令和 2 年度企画展「あざせ! 世界文化遺産登録「北海道・北東北の縄文遺跡群」～津軽海峡を挟んだ縄文文化～」
25	株式会社古川弘文館	遮光器土偶 (是川遺跡出土)	1	写真貸与	7/4	読者持己著「顔の考古学」(仮題)の本文図版
26	弘前大学	是川縄文館常設展示室及び展示品ほか	2	撮影	6/26	授業コンテンツ
27	個人	是川縄文館常設展示室ほか	2	撮影	6/26	YouTube では川縄文館の紹介等 (ツイート TV)
28	株式会社 JR 東日本企画 盛岡支店	是川縄文館常設展示室ほか	2	撮影	6/27	JR 東日本盛岡支店 HP「青春を愛しよう」
29	東奥日報社	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶	1	写真撮影	7/2	東奥日報 (令和 2 年 7 月 3 日朝刊予定)
30	株式会社グランフォート	是川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影	7/8	中居小学校卒業アルバム
31	八戸工業大学第一高等学校	是川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影	7/8	地域探求 (授業の一環)
32	聖教新聞社	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶ほか	5	写真貸与	7/20	聖教新聞社の月 1 回の連載「知的観光」のすめ
33	Institut national d'histoire de l'art	是川中居遺跡出土 土器ほか	4	写真貸与	7/20	「Perspective : actualite en histoire de l'art」
34	株式会社小学館	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶	1	写真貸与	7/19	隔月刊誌「和楽」10・11 月号大特集「日本美術は世界を救う」(仮題)
35	株式会社寿屋	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶	1	写真貸与	7/28	しおり
36	特定非営利活動法人コスモス園友愛の会	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶	1	写真貸与	8/1	合冢土偶ストラップ
37	特定非営利活動法人コスモス園友愛の会	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶	1	写真貸与	8/1	合冢土偶キーホルダー
38	京都産業大学ギャラリー	是川中居遺跡出土 藍染漆器	1	写真貸与	8/6	ギャラリー第 20 回企画展「山口吉彦コレクション おと・いろ・かたち 一南米から日本へ」の解説パネル
39	両館市縄文文化交流センター	風張 1 遺跡出土 深鉢形土器	1	写真貸与	8/1	令和 2 年度企画展「あざせ! 世界文化遺産登録「北海道・北東北の縄文遺跡群」～津軽海峡を挟んだ縄文文化～」
40	聖教新聞社学芸部	是川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影	7/14	連載「文化のページ」
41	カメラのコーエン	是川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影	7/17	階上町立石鉢小学校卒業アルバム
42	河北新報社 八戸支局	是川縄文館常設展示室及び展示品	1	写真撮影	7/24	河北新報新聞
43	朝日新聞	是川縄文館常設展示室及び展示品	1	写真撮影	7/25	朝日新聞
44	青森県観光国際戦略局観光企画課	是川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影	7/29	青森縄文観光パンフレット
45	読売新聞 八戸支局	是川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影	8/10	日刊読売新聞
46	読売新聞 八戸支局	是川縄文館常設展示室及び展示品	1	写真撮影	8/14	読売新聞
47	株式会社ヒースプランニング	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶	6	写真貸与	9/1	合冢土偶のアクセサリー作品制作の参考
48	滝沢市埋蔵文化財センター	首塚沢 (3) 遺跡 縄文土器ほか 9 点	3	写真貸与	9/7	展示パネル及び資料集
49	東日本旅客鉄道株式会社盛岡支店観光推進室	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶ほか	3	写真貸与	9/1	定期観光バス 2020 下月パンフレット
50	青森県教育文化財保護課	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶	1	写真貸与	9/14	令和 2 年度青森県文化財保存活用大綱 (概要)
51	金満酒造株式会社	是川中居遺跡出土 漆塗土器	2	写真貸与	9/5	縄文ラトル清酒「金満 純米吟醸 縄文浪浪」(仮称)
52	八戸市立三条小学校	是川縄文館常設展示室及び展示品ほか	2	写真貸与	9/3	児童の教育活動記録
53	青北建設設計株式会社	是川縄文館外観	1	写真貸与	8/26	設備設計事務所協会誌
54	青森朝日放送	是川縄文館企画展示室	1	映像撮影・掲載	8/26	「スーパー」チャンネル ABA ニュース (2020 年 8 月 27 日以降 OA 予定)
55	JR 東日本 八戸駅	是川縄文館展示室及び展示品 外観	1	写真貸与	8/25	地域活性化の為に
56	株式会社ビーエフエム	是川縄文館企画展示室	1	音声貸与	8/21	ゆらじ! Hachinohe 内コーナー「八戸〇〇ミュージアム」
57	株式会社 八戸テレビ放送	是川縄文館常設展・企画展及び展示品	1	映像撮影・掲載	8/19	企画展のニュース映像
58	NHK	是川縄文館常設展及び展示品 外観・企画展示室	1	映像撮影・掲載	8/18	「あっぷるワイド」番組
59	東奥日報社 八戸支社	是川縄文館常設展・企画展及び展示品ほか	2	写真貸与	8/15	柴山兄弟と是川遺跡の取材・報道
60	読売新聞 八戸支局	是川縄文館常設展・企画展及び展示品	1	写真貸与	8/14	日刊紙「読売新聞」
61	読売新聞 八戸支局	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	写真貸与	8/10	読売新聞
62	八戸塗装業組合	是川中居遺跡 飾り土刀	1	写真貸与	9/7	八戸塗装業組合の広告
63	東日本旅客鉄道株式会社盛岡支店観光推進室	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶ほか	3	写真貸与	9/10	パンフレット「駅たび」及び「青春・両館遊園の旅」
64	FM 青森	是川縄文館常設展及び展示品	1	映像撮影・放送・掲載	9/11	エフエム青森 近藤金吾のせいせい Fight♪ の番組レポート SNS 等
65	みどり幼稚園	是川縄文館常設展及び展示品	1	映像撮影	9/8	卒園アルバム・DVD
66	エムズクリエイティブ	体験スナップ	1	写真撮影	9/10	卒業アルバム
67	山形県立博物館	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶	1	写真貸与	9/20	山形県立博物館リーフレット (国宝「縄文の女神」)
68	有限会社ういきあっぷらんど	風張 1 遺跡出土 深鉢形土器	1	写真貸与	9/24	NHKBS プレミアム「英の壺・市松松様」2020 年 11 月 6 日放送予定
69	八戸市小学校社会科教育研究会	八戸市埋蔵文化財センターは川縄文館パンフレット表紙	1	写真使用	9/25	「小学校社会科副読本 3 年生用 (わたしたちのふるさと)」
70	千葉学園高等学校	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	映像撮影	9/17	創立 110 周年記念式典典用誌
71	青森県観光企画課	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	9/20	Web メディア「TokyoArtBeat」及び「Artscape」(令和 2 年 11 月以降)
72	RYO フォトスタジオ	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	10/2	弘前市立植穂小学校 6 年生卒業アルバム
73	有限会社カメラの和弘	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	10/2	中学校展覧
74	RAB 青森放送八戸支社	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	写真撮影・映像撮影	10/1	RAB ニュースレーダー学芸員アプリ取材 (2020.10.1 18:15 放送)
75	ミカスタジオ	是川縄文館常設展及び展示品	1	写真撮影	10/1	取材
76	青森放送	是川中居遺跡出土 土偶ほか	2	写真貸与	10/8	テレビ番組
77	株式会社ラジオ	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶ほか	4	写真使用	10/4	情報誌「ALONG」(アロング)
78	笹森写真館	是川縄文館常設展及び展示品	1	写真撮影	10/8	卒業アルバム
79	福島市	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶	1	写真貸与	10/8	じゅもあ官旗施設ガイドブック
80	デーリー東北新聞社	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶	1	写真貸与	10/9	「おんでやんせ八戸」観光誘客支援事業 ツアー募集パンフレット
81	個人	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶 実測図	1	写真使用	10/16	第 2 回はのへ縄文フェスで使用する缶バッジ
82	株式会社ビーエフエム	是川縄文館企画展示室及び展示品	1	音声録音	10/14	取材
83	東奥日報社	是川縄文館常設展及び展示品	1	写真撮影	10/17	東奥日報
84	UPLAIV (ユースプラン)	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	映像撮影	10/17	ユーチューブ (アオモリスティーター)
85	株式会社東北情報 青森支社	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	映像撮影	10/9	「青森縄文遺跡」PR 動画
86	読売新聞 八戸支局	是川縄文館企画展示室及び展示品	1	写真撮影	10/10	企画展取材
87	東北観光推進機構	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶ほか	3	写真貸与	10/21	台湾市場向けの宮城県から青森県までの東北観光モデルコース PR チラシ
88	八戸工業大学第二高等学校附属中学校	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	10/22	学校ホームページ
89	日本郵政株式会社八戸郵便局	八戸市埋蔵文化財センターは川縄文館マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与	10/27	「青森県のご当地キャラクターに応援の年賀状を書こう!!」PR チラシ
90	一般社団法人 八戸建設業協会	風張 1 遺跡出土 国宝 合冢土偶ほか	2	写真貸与	10/30	年賀状

令和 2 年度映像資料利用依頼一覧 (1)

番号	申請者	資料名	点数	貸出しメディア	許可日	掲載先
91	フォトスタジオ メモリー	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	10/30	大野小学校卒業アルバム
92	有限会社スチアリング	是川縄文館常設展及び展示品	1	映像撮影	10/30	取材 YouTube チャンネル
93	デリー東北新聞社	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	10/31	商業高等学校取材、デリー東北新聞
94	青森県立八戸商業高等学校	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	10/31	青森県内校内配布物
95	株式会社近畿日本フーリスト東北青森支店	是川縄文館常設展及び展示品	1	写真撮影・映像撮影	11/1	「青森グリーン・ツーリズム」(R2 度 12 月 WEB「TABIGO」内)
96	株式会社協同	是川縄文館常設展及び展示品	1	写真撮影	11/7	「rakra」"おでかけ・みち"」
97	株式会社プラウ21	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	11/10	小学 6 年生向け読解問題
98	有限会社八戸カメラ	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	11/10	八戸市立江陽小学校卒業アルバム
99	株式会社ターミナル	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	11/10	日本航空株式会社 (JAL) ontripJAL 記事
100	八戸商工会議所	是川縄文館外観	1	写真撮影	11/11	当所会報の表紙
101	株式会社ユニフォトプレインターナショナル	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	11/13	株式会社ナガセ発行「2020 年度 1 月全国有名私大模試 日本史」
102	株式会社ユニフォトプレインターナショナル	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	11/13	株式会社ナガセ発行「2020 年度 1 月早慶上理 難関国立大模試 日本史」
103	個人	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	11/18	切手
104	ランコムスタッフ	是川縄文館常設展及び展示品ほか	1	映像撮影	11/12	HNK BS プレミアム英雄たちの選択
105	株式会社電通東日本青森営業所	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	11/19	青森県語学交流課 WEB 動画
106	イワゲフォトスタジオ	是川縄文館常設展及び展示品	1	写真撮影	11/17	卒業アルバム
107	大間町立大間小学校	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	11/19	卒業アルバム
108	東京書籍株式会社	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	11/21	令和 3 年度 中学校デジタル教科書「新しい社会 歴史」
109	アドブリンター	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	11/10	年賀状 (販売用)
110	青森県世界文化遺産登録推進室	是川縄文館常設展及び展示品	3	映像撮影	11/21	テレビ番組
111	個人	是川中居遺跡出土 漆塗り樹皮製容器	2	写真貸与	11/23	指紋の医学的考察に関する論文・コラム
112	スタジオやまみち	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	11/26	根城中学校 1 学年校外学習写真撮影
113	有限会社無限	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	11/26	町内町立小浜小学校修学旅行撮影
114	国際ソロプチミスト八戸	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	12/1	国際ソロプチミスト八戸誌 45 周年記念誌
115	テレコムスタッフ株式会社	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	映像利用	12/8	NHKBS プレミアム「英雄たちの選択」(2021 年 1 月 3 日放送)
116	株式会社敬文舎	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	12/8	東北芸術工科大学名誉教授・安斎正人著『戦国時代史 下』
117	株式会社 小学館クリエイティブ	是川中居遺跡出土 木船漆器ほか	2	写真貸与	12/9	2015 年に刊行された「キッズペディア 世界遺産」(小学館)の改訂版
118	株式会社アド・グリーン	是川縄文館外観ほか	5	写真貸与	12/12	交通新聞社発行「旅の手帖 3 月号 特別付録 東北 DC」
119	東奥日報社	是川中居遺跡出土 木船漆器ほか	2	写真貸与	12/15	東奥日報
120	株式会社サンブラッソ atv	是川縄文館常設展及び展示品	2	映像撮影	12/9	県動画撮影取材「新幹線高速化」
121	青森県立八戸第二養護学校 6 学年	是川縄文館常設展及び展示品	2	写真・映像撮影	12/10	校内学習
122	デリー東北新聞社	是川縄文館常設展及び展示品	1	写真撮影	12/12	デリー東北朝刊「注口土器はじまる」
123	東奥日報社	是川縄文館常設展及び展示品	1	写真撮影	12/13	東奥日報
124	八戸市広報誌課	令和元年度は川縄文館特別展「北の縄文世界」ほか	2	写真貸与	12/16	テレビ特番「八戸市 新春に語る」
125	カメラのコーエン	是川縄文館常設展及び展示品は川縄文館	1	写真・映像撮影	12/5	卒業アルバム
126	株式会社カメラの和弘	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	12/18	南郷小学校撮影のため
127	株式会社敬文舎	是川中居遺跡出土 壺形土器	2	写真貸与	12/15	『縄紋時代史 下』
128	青森県観光企画課	是川縄文館常設展及び展示品	1	写真撮影	12/20	新聞掲載のため
129	副都府教育委員会	是川石器時代遺跡 遺跡全景	1	写真貸与	1/8	入江・高砂貝塚の展示解説パネル
130	株式会社ネクスス	是川中居遺跡出土 藍胎漆器	1	写真貸与	1/8	テレビ番組「開運!なんでも鑑定団」VTR
131	個人	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	8	写真貸与	1/5	2021 年 4 月に品文社から出版予定の書籍「土偶を読む」
132	株式会社 JTB 国内仕入事業部	是川石器時代遺跡 遺跡全景ほか	5	写真貸与	1/8	2021 年度「旅の過ごし方 WEB サイト」縄文バスポート紹介ページ
133	株式会社八戸テレビ放送 代表取締役社長	是川縄文館企画展示室及び展示品	1	映像撮影	1/6	ニュース取材のため (2021 年 1 月 17 日・40 分放送)
134	おいらせ町教育委員会	平成 26 年度秋季企画展 海と火山と縄文人映像資料	1	映像利用	1/15	阿光坊古墳群を学ぶ講座 第 2 講座「十和田火山とおいらせ町」
135	八戸市観光課	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	映像撮影	1/14	観光 PR 動画
136	岩手県北自動車株式会社	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	1/14	オンラインバスツアー企画
137	ヴァンラーレンタカー	是川縄文館常設展及び展示品	1	映像撮影	1/15	YouTube
138	株式会社ジェイアール東日本企画盛岡支店	是川縄文館一般収蔵庫	5	写真撮影	1/25	東北 DC ガイドブック掲載の特別企画メニュー
139	株式会社第一学習社	是川中居遺跡出土 土器	2	写真貸与	1/26	高等学校地理歴史科「日本史探究」教科書及び教師用指導資料、デジタル教科書
140	個人	是川中居遺跡出土 土偶ほか	3	写真貸与	1/26	縄文 ZINE 12 号掲載、合本への掲載
141	クラブツーリズム株式会社関西テーマ旅行センター	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	1/23	媒体・ホームページ
142	八戸北ロータリークラブ	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	1/29	国際ロータリークラブ第 2830 地区 月刊誌 2 月号 表紙
143	NHK	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	1/27	ニュース取材
144	びゅうトラベルサービス	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	1/28	大人の休日倶楽部専用プラットフォーム及び WEB
145	株式会社童夢	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	2/2	株式会社講談社の書籍、講談社のうごく図鑑 MOVE「小学生のずかん」
146	個人	是川中居遺跡出土 透光器土偶ほか	4	写真貸与	2/2	Artscap Japan のオンラインマガジン 2 月号
147	職業訓練法人 八戸調理職業訓練協会	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	2/3	2 月 25 日、26 日開催の「はちのへ料理人の腕自慢」ポスター
148	職業訓練法人 八戸調理職業訓練協会	八戸市埋蔵文化財センターは川縄文館マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与	2/3	2 月 25 日、26 日開催の「はちのへ料理人の腕自慢」ポスター
149	青春朝日放送株式会社	是川縄文館企画展示室及び展示品	1	映像撮影	1/28	「スーパー J チャンネル ABA」ニュース取材のため
150	東奥日報社	千葉県高校制作ドレス	1	写真撮影	1/29	東奥日報
151	読売新聞 八戸支局	是川縄文館体験交流室	1	写真撮影	1/30	読売新聞青森版
152	宮古市教育委員会	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	2/11	「三陸古と沿岸のじょうもんと土偶展」
153	株式会社西遊旅行	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶ほか	3	写真貸与	2/3	企画「北東北の縄文遺跡と自然」(仮題)
154	個人	是川縄文館常設展示室	6	写真撮影	2/5	NHK 青森放送局のアナウンサーブログ
155	個人	漆塗り土器集合写真	1	写真貸与	2/11	北海道読売総合振興局発行「読売の縄文の魅力がわかるガイドブック(仮題)」
156	川口印刷工業株式会社	是川縄文館外観ほか	10	写真貸与	2/11	御所野遺跡等「縄文」をテーマとする周遊マップに使用するため
157	八戸市観光課	是川中居遺跡出土 透光器土偶ほか	2	写真貸与	2/14	みなみ北海道・北東北観光ルートガイド「Go-Route Hakodate」
158	紅ミュージアム	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	2/14	「紅ミュージアム 常設展示図録」
159	読売新聞 八戸支局	是川縄文館展示室及び展示品	1	写真撮影	2/6	読売新聞青森版
160	NHK 青森	是川縄文館内観	1	写真撮影	2/6	3/21 放送特集番組
161	個人	長七谷地貝塚 骨角製漁具	1	写真貸与	2/20	北海道読売総合振興局発行「読売の縄文の魅力がわかるガイドブック(仮題)」
162	八戸市観光課	滑石の勾玉作りほか	4	写真貸与	3/2	はちとまネットワーク連携事業プラットフォーム掲載のため
163	株式会社西遊旅行	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	3/5	企画「縄文古代モニュメント探訪とみちのく自然紀行」の「月刊みんぱく」広告ページ
164	株式会社一賀堂	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	3/5	郵船クルーズ客船「飛鳥 II」2021 年夏秋総合イベント
165	公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	是川石器時代遺跡 遺跡全景ほか	12	写真貸与	3/9	令和 3 年度企画展示「世界遺産を目指す北の縄文展」展示パネル・配布資料
166	青春テレビ	是川縄文館企画展示室及び展示品ほか	2	映像撮影	2/23	注口土器展取材
167	個人	これかフェニウム・料理写真ほか	2	写真撮影	2/26	インスタグラム
168	株式会社みちのりトラベル東北八戸支店	是川縄文館外観	1	写真貸与	3/9	盛岡発・高速バスの旅八戸フリープラン・募集リーフレット
169	両館税関八戸税関支署	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	3/9	財務省発行「ファイナンス」令和 3 年 4 月号
170	日本経済新聞社写真映像部	風張 1 遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	3/14	日本経済新聞朝刊別刷りプラス 1 くらし探検隊「縄文って人気のな?」(仮)、及び日経電子版
171	NHK 青森放送局	常設展及び展示品	1	写真撮影	3/10	あっぷるワイド
172	クラブツーリズム株式会社カルチャー旅行センター	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	3/24	パンフレット
173	クラブツーリズム株式会社カルチャー旅行センター	八戸市埋蔵文化財センターは川縄文館マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与	3/24	パンフレット
174	NHK 青森放送局	これかわ考古学クラブ 活動写真	13	写真貸与	3/20	NHK FM「目指せ!世界文化遺産登録 縄文人はオトモデチ!」の放送中の twitter 発信
175	八戸歴史文化発信事業実行委員会	田向冷水遺跡 ナイフ形土器ほか	54	写真貸与	3/24	WEB サイト「はちのへヒストリア」に掲載するため
176	一般社団法人 東北観光推進機構	是川中居遺跡 赤染土骨	1	写真貸与	3/25	北海道・北東北の縄文遺跡群モデルコース作成のため
177	NHK 両館放送局	是川中居遺跡 透光器土偶	1	写真貸与	3/25	番組「ドクが行く!」
178	福島市	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	3/30	「(仮)しむがむ土偶辞典~上岡遺跡のしむがむ土偶~」
179	青森県企画政策部世界文化遺産登録推進室	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	3	写真貸与	3/30	「縄文あもりキリスト B O O K」
180	株式会社 NHK エデュケーション	是川中居遺跡 藍胎漆器	1	写真貸与	3/31	NHK ワールド・NHK-BS1「ジャパノロジー・プラス~漆器~」
181	八戸市観光課	是川縄文館 収蔵庫ガイドの様子	1	写真貸与	3/30	東北 DC ガイドブック
182	八戸市医師会	是川縄文館外観	1	写真貸与	3/30	八戸市医師会報「はちのへ医師会のうごき」

令和 2 年度映像資料利用依頼一覧 (2)

VI 管理運営概要等

(2) 実物資料

令和 2 年度は合計 6 件の貸出を許可した。是川中居遺跡出土品を「発掘された日本列島 2020」に出品し、縄文時代晩期の亀ヶ岡文化を代表する出土品として全国で来場者の注目を集めた。

No.	申請者名	資料名	貸出期間	利用先
1	八戸市博物館	中居遺跡出土 甕形土器・管玉 一王寺遺跡出土 骨角器 八戸城跡出土 土偶様壺形土器他 計 46 点	R2.4.1 ~ R3.3.31	常設展示
2	文化庁文化財第二課埋蔵文化財部門	中居遺跡出土 壺形土器・台付土器・注口土器 計 3 点	R2.5.28 ~ R3.3.9	「発掘された日本列島 2020」
3	八戸市博物館	イノシシ骨格標本 計 1 点	R2.6.24 ~ R2.9.4	特別展「飢渴の郷土史」
4	北上市博物館	田向冷水遺跡出土 土師器杯・甕 続縄文土器深鉢 計 6 点	R2.10.21 ~ R3.3.26	特別展「蝦夷の赤い甕 - 最強の蝦夷は和賀川にいた -」
5	八戸市博物館	大仏遺跡出土 堅果類 計 1 点	R2.11.26 ~ R2.12.1	講演会「13,000 年前の保存食 - かけ栗と乾燥『どんぐり』 -」
6	八戸市博物館	八戸城跡出土 牛乳瓶 林ノ前遺跡出土 ウシ 計 15 点	R2.12.5 ~ R3.1.11	「えと展 - うし -」

令和 2 年度実物資料貸出一覧

6. 資料収蔵

(1) 収蔵対象

是川縄文館では、八戸市内の遺跡から発掘調査等によって出土した遺物や、写真・図面等の調査記録、関連図書の収集・収蔵・保管を実施している。また、是川縄文の里整備事業において活用するため、漆器生産等に関連する民族・民俗資料も収蔵対象としている。

(2) 出土遺物等

出土遺物等については、平成元年度以降に八戸市教育委員会が実施した発掘調査によって出土した資料のほか、寄贈品等を収蔵している。収蔵施設には特別収蔵庫及び一般収蔵庫がある。特別収蔵庫には重要文化財、保存処理が完了した木製品・金属製品等の約 700 点を収蔵している。一般収蔵庫にはそのほかの土器、石器、土製品、石製品等が約 3,000 箱収蔵されている。収蔵庫内は資料を適切な状態で保管するため、常時温湿度管理を行っており、消火設備を備えている。資料は掲載されている調査報告書の図版ごとに平箱に収納している。

令和 2 年度は発掘調査で出土した遺物の内、整理作業が終了した 312 点、12 箱を新たに収蔵した。

(3) 写真・図面等

写真・図面等の調査現場における記録のほか、整理作業の過程で作成された遺物実測図等は調査記録保管室で収蔵保管している。八戸市教育委員会の発掘調査では、これまで記録保存の手段とし

て 35mm フィルムの使用を必須としていたが、メーカーの製造数減少を受けて、今後の安定的な入手が困難と判断し、フルサイズ一眼レフデジタルカメラのみでの記録を行っている。

(4) 図書

図書については、54,593 冊を所蔵している。各地の地方自治体等が刊行している発掘調査報告書等の考古学・歴史学に関連する図書が大半を占める。蔵書の内 24,243 冊は故・江坂輝彌氏による寄贈図書である。江坂図書は学史上重要な文献から外国語文献に至るまで多岐にわたる資料を含んでおり、調査・研究に活用されている。図書は書庫・研究室に収蔵されているほか、一部は閲覧コーナーにおいて一般開放している。

令和 2 年度は 2,780 冊（うち寄贈 2,704 冊、購入 76 冊）を新たに追加した。

(5) データベース

是川縄文館データベースは、遺跡・図書・収蔵資料に関するデータを館内に設置したサーバーに格納し、独自の仕様で運用してきたものである。開館時からの運用により、ハードウェアの耐用年数や、OS のサポート期間が満了するなど利用期限を迎えたことから、令和 2 年度にクラウド型データベースへの移行を行った。現在、遺跡 524 件、図書 54,609 件、資料 45,288 件など全 100,506 件の情報を格納して運用している。

7. 予算概要 ※補正予算の記載がない額は当初予算額を示す。職員人件費は含まない。

予算内容		予算額 (円)
運営経費		105,134,000
《内訳》	施設維持管理経費	78,813,000
	一般管理事務経費	26,321,000
特別展・体験事業等開催事業費		26,488,000
《内訳》	特別展経費	12,631,000
	企画展経費	7,095,000
	共同研究経費	112,000
	教育普及経費	6,650,000
是川縄文の里整備事業費		100,307,000
発掘調査事業費		122,513,000
《内訳》	八戸市内遺跡発掘調査事業費	68,775,000
	八戸城跡発掘調査事業費	51,452,000
	文化財調査管理事務経費	2,286,000
埋蔵文化財保存活用費		8,089,000
《内訳》	埋蔵文化財活用活性化事業費	4,332,000
	是川遺跡出土品保存修理事業費	3,757,000
合 計		362,531,000

8. 新型コロナウイルス感染症対策

(1) 館の利用制限

新型コロナウイルス感染症の拡大リスクを減じるため、多くの入館者が見込まれるゴールデンウィークを含めた4月18日(土)から5月11日(月)までを休館としたほか、再開後はハンズオン展示・図書閲覧コーナーの利用中止やミュージアムショップの短縮営業、体験学習のメニューを限定した再開等各種の対応を行った。また、それに付随して予定していたイベントについても、情勢の変化に応じて内容の変更や開催の中止・延期の対応を行った。

月 日	内 容
4/1 (水) ~	日曜日縄文体験コーナー、各種体験学習の中止 ※~6/6 (土) ボランティアガイドの中止 ※~6/30 (火)
4/18 (土) ~	是川縄文館・縄文学習館(分館) 臨時休館 ※~5/11 (月)
5/12 (火) ~	<ul style="list-style-type: none"> ・是川縄文館・縄文学習館(分館) 再開 ・感染対策の実施 (→ p48) ・ミュージアムショップの閉鎖 ※~5/19 (火) ・これカフェの閉鎖 ※~6/5 (金) ・コインロッカーの使用中止 ※令和3年4月現在も継続中 ・「是川羅針盤」・「はちのへ遺跡ログ」・「縄文の道」・「縄文の謎」のハンズオン展示・タッチパネルの利用の中止 ※令和3年4月現在も継続中 ・触れる合掌土偶レプリカの撤去 ※令和3年4月現在も継続中 ・図書閲覧コーナー利用の中止 ※令和3年4月現在も継続中
5/20 (水) ~	ミュージアムショップ営業再開
6/6 (土) ~	これカフェを時間短縮・座席制限のうえ再開
6/7 (日) ~	「滑石で勾玉作り」を対応人数に制限を設け再開
7/1 (水) ~	ボランティアガイドの再開 ※1週間前までの予約が必要
7/5 (日) ~	「火起こし」対応人数に制限を設け再開
8/29 (土)	令和2年度夏季企画展考古学講座をインターネット中継で実施
9/1 (火) ~	これカフェ通常営業再開 ※~令和3年4月現在も座席制限は継続中
3/20 (土)	令和2年度後期考古学講座第2回をインターネット中継で実施

主な新型コロナウイルス感染症対策

日時	対象イベント	内容
5/2 (土)	滑石でペンダント作り教室	中止
5/9、23、30(土)	サポートスタッフ研修会(前期) ①～③	3回に短縮して6月に開催
5/16 (土)	考古学講座①	延期(10月10日)
5/30 (土)	これかわ考古学クラブ開講式	延期(7月25日)
6/6 (土)	これかわ考古学クラブ第1回講座	延期(8月1日)
6/20 (土)	考古学講座②	延期(11月28日)
7/11 (土)	考古学講座③	延期(12月19日)
8/1 (土)	これかわ考古学クラブ第2回講座	延期(9月12日)
1/16 (土)	考古学講座④	中止
2/13 (土)	考古学講座⑤	延期(3月20日)
2/26 (金)	サポートスタッフ研修会(後期) ⑤	中止

新型コロナウイルス感染症対策のため内容の変更、開催の中止・延期を行ったイベント

(2) 感染対策

臨時休館からの再開後は、主に以下のとおりの感染対策を行った。

- ・ 館内各所に手指消毒液を設置
- ・ ドアノブ・手すり等の定期的な除菌
- ・ 館内スタッフのマスク着用徹底
- ・ 受付、ミュージアムショップのレジに飛沫防止カーテンを設置
- ・ トレーでの現金授受
- ・ 来館者の入館時のマスク着用、手指消毒の徹底
- ・ 来館者への検温、連絡先の記入依頼
- ・ 展示室の入場制限(原則 50 人 / 1 時間)
- ・ 観覧時間制限
(常設展：1 時間、企画展：30 分)
- ・ 展示室内における観覧者同士の十分な距離の保持への呼びかけ
- ・ シアター前に設置している椅子の間隔保持
※席数を 19 → 8 に変更
- ・ 展示室への再入場や逆進行の禁止
- ・ 体調に不安がある方の入館制限
- ・ ゴミ箱の撤去
- ・ ガイド、体験学習指導時のフェイスシールドやハンズフリーマイクの利用促進
- ・ 日曜日縄文体験コーナーのメニューを限定
(1 時間以内で体験可能な滑石の勾玉作り・火起こし)
- ・ 体験コーナー利用後の各種道具、テーブル等の消毒の実施
- ・ 八戸 with コロナあんしん行動サービス(CODE8) 周知



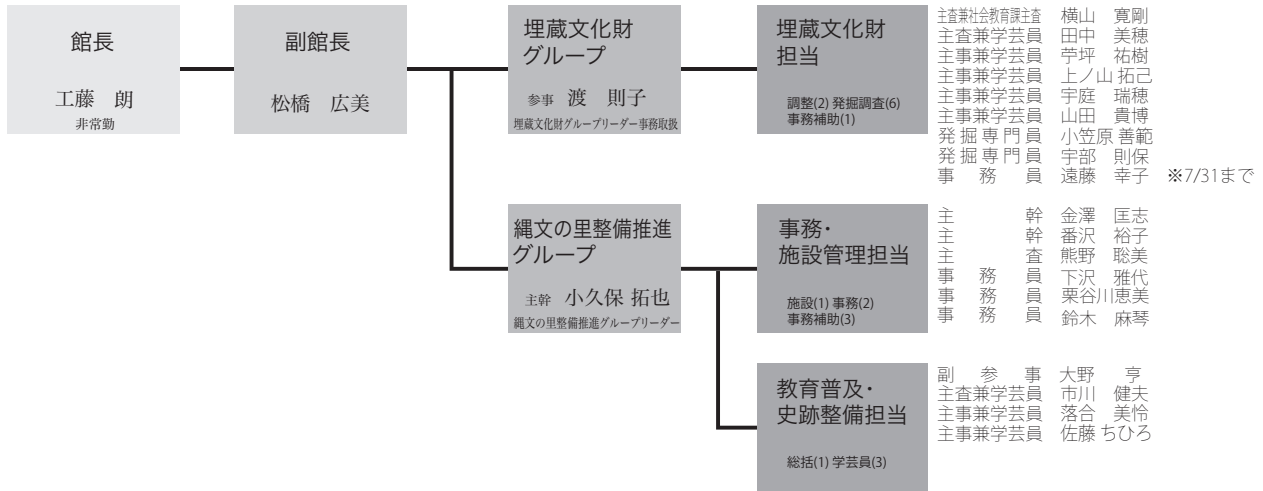
「是川羅針盤」使用中止の掲示



入口の手指消毒液と館内利用に関する掲示

VII 組織・関係団体

1. 組織及び職員構成



2. 八戸縄文保存協会

【設立年】平成 7 年 【会員数】145 名(法人会員含む)

【目的・活動】

縄文文化の重要性を認識し、縄文遺跡及びその出土品の保存に協力するとともに、その活用を図り、もって地域文化・経済の振興に寄与することを目的に発足。当協会では、目的を達成するために次の事業を行う。

- ①縄文文化についての研修
- ②是川縄文館に関連する事業への協力
- ③縄文是川ボランティアへの支援
- ④縄文遺跡及びその出土品等の宣伝紹介
- ⑤文化財保護思想の啓蒙など

さらに、是川縄文館内でミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」を運営し、来館者の利便性向上を図っている。

このほか、毎年 8 月には「これかわ縄文まつり」を催し、弓矢体験や縄文土器・土偶作り、火起こし等の縄文体験、スタンプラリーといったイベントと各種ステージの企画・実施を通じ、縄文遺跡の魅力について広く普及啓発を図っているほか、地域の活性化に寄与している。令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症対策のためほとんどのイベントが中止となったが、縄文遊人会が主催した「縄文フェス」では縄文グッズの販売行ったほか、冬には「第 5 回は川縄文の里俳句大会」を開催した。俳句大会では学生の部・一般の部あわせて 384 作品の応募があり、その中から優秀な作品を選考し、縄文館内で表彰を行った。

また、当協会は、「青森県の縄文遺跡群 世界遺産をめざす会」や「北の縄文文化回廊づくり推進協議会」に加盟し、縄文遺跡群の世界文化遺産登録推進に係る普及啓発を行っている。



俳句大会表彰式

3. 是川文化財愛護会

【設立年】昭和 49 年 【会員数】 13 人

【目的・活動】

是川遺跡とその出土品をはじめとする八戸市内の文化財の愛護事業に協力し、その活用を図り、地域文化の向上に資することを目的として発足した。主な活動として、是川遺跡の紹介や環境整備・保全活動、及び文化財愛護思想の啓蒙等がある。

特に環境整備等の活動では、平成 6 年から実施された分館敷地内の復元竪穴住居における燻し等の保守管理活動や、縄文時代に生育されていたと考えられる植物の植栽活動等を継続的に実施している。

平成 24 年・25 年度には復元竪穴建物 2 棟の修繕を実施した。

4. 縄文是川ボランティア

【設立年】平成 8 年 【会員数】51 人

【目的・活動】

是川遺跡及びその出土品をはじめ縄文時代の調査・研究の成果を活用して、八戸市の縄文遺跡や縄文文化の素晴らしさを市民に伝え、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の教育普及活動を支援することを目的とし、下記の活動を行っている。

- ①縄文体験コーナー
- ②土曜日体験教室
- ③グループ・団体の体験学習の指導
- ④縄文土器野焼き
- ⑤学校・公民館等での体験学習の指導
- ⑥研究・研修・学習会
- ⑦是川縄文館本館・分館の展示室や是川遺跡のガイド

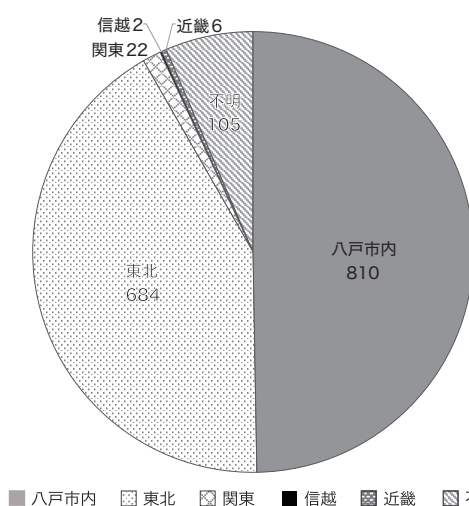


サポートスタッフ研修会の様子

【活動実績】※体験学習指導の詳細については、III - 3 教育普及の実績、VI - 2 日記抄を参照されたい。

月	開館 日数	延人数	一日平 均人数
4	16	34	2
5	18	28	2
6	26	122	5
7	30	231	8
8	30	210	7
9	27	241	9
10	28	276	10
11	25	265	11
12	23	156	7
1	24	90	4
2	21	141	7
3	26	191	7
計	294	1,985	7

縄文是川ボランティア
活動人数



縄文是川ボランティア展示解説 地方別利用状況
※縄文是川ボランティアの聞き取りにより把握

都道府県	人数
八戸市内	810
北海道	0
東北	684
関東	22
信越	2
北陸	0
東海	0
近畿	6
中国	0
四国	0
九州	0
沖縄	0
海外	0
不明	105
総計	1,629

利 用 案 内

○開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

○観覧料

区 分	個 人	団 体
一般	250 円	130 円
大学生・高校生	150 円	80 円
中学生・小学生	50 円	30 円

※市内 65 歳以上、障がい者手帳等をお持ちの方と同伴者 1 名は半額。特別展は料金が変わります。

○休館日 毎週月曜日（祝日・振替休日の場合は開館）

祝日・振替休日の翌日（土・日曜日、祝日の場合は翌日）

年末年始（12 月 27 日～1 月 4 日）

※上記以外の臨時開館・臨時休館があります。

○交 通

バス：J R 八戸駅東口 4 から土日祝日のみ南部バスで 22 分

ラピアバスターミナル・中心街から南部バス（J42、J112）で約 25 分

中心街バスターミナル 3（中央通）南部バスで約 20 分

自動車：八戸自動車道・八戸 I C から約 10 分

タクシー：J R 八戸駅東口より約 15 分 ※距離：約 8km 料金：約 3,000 円

○駐車場

普通車 86 台 大型バス 6 台 障がい者用 3 台

○所在地

青森県八戸市大字是川字横山 1 TEL 0178-38-9511 FAX0178-96-5392

○ホームページ

<https://www.korekawa-jomon.jp/>

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

年 報

第 10 号 -令和 2 年度-

発 行 日 2021 年 6 月 11 日

編集・発行 八戸市教育委員会

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

〒 031-0023 青森県八戸市大字是川字横山 1

TEL 0178 (38) 9511 FAX 0178 (96) 5392

印 刷 株式会社オダプリント

〒 039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 3 丁目 2-100

TEL 0178 (21) 2711 FAX 0178 (21) 2720